

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109A	総合ゼミナール(江良友子) Seminar (Library and Librarian)	江良友子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

図書館の授業で学んできた図書館サービスを実践的に理解するために、本学図書館を主要なフィールドとして図書館の「館内展示」と校内掲示板の「掲示」の制作、『図書館だより』の発行を行う。また、受講者の興味に応じて読書会やビブリオバトル、図書館見学会などを行う。(基礎知識の獲得・活用・応用)
受講生による自主的な運営と共同作業を基本とすることで、建学の精神を踏襲するとともに社会人基礎力を育成し、図書館司書の仕事に必要な課題解決能力を身につける。
(ディプロマポリシー①・②・③・④・⑤に相当する)

学修内容	到達目標
① 館内展示の計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ② 掲示板の計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ③ 図書館だよりの計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ④ 司書資格取得科目で学んだ読み聞かせや選書の技術を使ったコミュニケーションを実施する(自主企画)。 ⑤ 図書館で学んだことを活かして、大学・社会への貢献を行う。	① 貸出に繋がる館内展示を考え、制作することができる。 (ディプロマポリシー②) ② 図書館と本の魅力をアピールする掲示を考え、制作することができる。 (ディプロマポリシー②) ③ 図書館だよりを通じて大学図書館をアピールすることができる。 (ディプロマポリシー②) ④ 本学・他大学の学生や図書館職員、地域の人々と交流するための企画立案・製作・参加ができる。 (ディプロマポリシー③) ⑤ 大学と社会貢献に繋がる活動に参加することができる。 (ディプロマポリシー①・②・③・④・⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	現在のゼミ活動の中で何をすべきか見極め、自発的に作業に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	更に良い作品にするにはどうしたらよいかを考え、過程を大切にしながら制作に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	常に周りに声かけをし、正確な作業を把握しながら作品制作ができる。
	計画力	
	創造力	図書館利用者を意識した、図書館だより、館内展示、掲示の企画・制作ができる。
チームで働く力	発信力	本や紙芝居など資料をハブとしたコミュニケーションを本学・他大学の学生、図書館員や地域住民と取ることができる。
	傾聴力	自分と異なる意見を持つ他者の話にも耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じて参考資料等を配布する。
参考文献：必要に応じて配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する全ての科目
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

司書として現場で仕事をするために必要なことを実践的に学習する。 受け身ではなく、積極的に発言・行動すること。 図書館だけでなく、展示・掲示制作で参考となる博物館などへ自ら足を運び、学習することが望ましい。 授業時間以外の時間、土日や休暇期間を使って作品制作・行事への参加をする場合がある。	無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 話し合いで決定した事項は、全員で協力して行うこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。 自主企画や図書館見学に要する費用は自己負担とする。
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓		(発表) 30点 ・作品（館内展示・掲示・図書館だより）について解説することができる（基礎知識の習得・活用）。 ・他者の発表に対して質問や感想を述べることができる（基礎知識の応用）。 ・自分たちが培ってきた社会人基礎力を活かして発表するための資料作り・発表準備・プレゼンテーションができる（基礎知識の習得・活用）。 (制作物) 30点 ・館内展示（タイトルボード、各本の紹介、季節に合わせた飾りつけなど）、図書館入り口のカフェボード（基礎知識の習得・活用・応用） ・大学玄関口掲示（図書館への案内、本の紹介など）（基礎知識の習得・活用・応用） ・図書館だより（企画・レイアウト・校正など）（基礎知識の習得・活用・応用） (その他) 30点 ・ゼミとして参加する学校・地域の行事やイベントの準備・参加ができる（15点） ・自主企画立案・準備・実行がもれなくできる（15点）	
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) ・自主企画の企画内容・実行状況・反省の取り組み姿勢を評価する。 (実行力) ・担当となった展示・掲示・図書館だよりの取り組み姿勢を評価する。 (課題発見力) ・各作業について周りの状況を確認しながら進めることができているかを評価する。 (創造力) ・図書館利用者の実態に合った作品を考え、創作することができているかを評価する。 (発信力) ・紙芝居・読み聞かせ、プレゼンテーションなど、人前で発表する姿勢を評価する。 (傾聴力) ・自分と異なる意見にも耳を傾け、それを踏まえた提案をすることができているかを評価する。 (規律性) ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた時は、積極的に参加し、発表することができる。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、図書館利用推進に繋がるものに仕上がっている。 学校内外の行事・イベントに意欲をもって臨み、参加することができる。 社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。</p> <p>A (優) 評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には参加し、発表することができる。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、よいものに仕上がっている。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することができる。 社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。</p>	<p>B (良) 評価 ゼミの授業時間以外に参加・発表の場が与えられた場合には参加・発表するよと努力している。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、良いものにするよう努力できている。 学校内外の行事・イベントに参加できている。 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。</p> <p>C (可) 評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には、参加できている。 割り当てられた作品を期日までに制作するよう努力している。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することが難しかった。 社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。 或いは、達成には至らないが努力できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方説明と年間計画の検討を行う	講義 話し合い PC・タブレットを使用した調査を含む	授業の趣旨を理解し、年間計画に自分の意見を反映させることができる。	(第1回予習) 自主企画の案を考えて図案化する。	45	主体性 傾聴力 規律性
2～5	館内展示 1 図書館内の展示企画と作成、参考となる図書館見学を行う (基礎知識の獲得・活用・応用)	演習(作成) 図書館見学(予定) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	館内展示(5～8月分)の企画・作成、展示作業を行うことができる。	(各回予習) 魅力的な展示・掲示にするために必要なことを考え、発表できるようにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6～9	掲示 1 掲示板を有効に使う方法を学習し、掲示作成を行う (基礎知識の活用・応用)	演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	掲示(5～8月分)の企画・作成、掲示作業を行うことができる。	(各回課題) 月替わり展示・掲示制作作業 ・季節 ・色使い ・レイアウトを考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10・11	自主企画 1 (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習又は実習、見学 PC・タブレットを使用した調査を含む	自主企画案を出すことができる。 決定した内容に沿って作業に参加できる(制作物の場合は完成させることができる)。	(予習) 第1回授業で決定した自主企画準備 ・日程 ・材料 ・道具	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12～14	図書館だより 1 図書館だよりの企画と制作を行う (基礎知識の獲得・活用・応用) ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより 秋号 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(予習) 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	前期の反省会 後期の計画 (基礎知識の活用・応用)	オンデマンド授業 14週分の授業で作成・実施した内容について講評する	前期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 後期分自主企画の計画案を立てることができる。	(予習) これまで作成した作品を振り返り、課題をあげることができる。 前期の反省を踏まえ、後期の自主企画案を考えることができる。 ☆出席課題 前期の反省と課題、後期の自主企画を書いてグループワークで提出をする。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
16～19	館内展示 2 図書館内の展示企画と作成を行う (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	第1回館内展示作成時の反省点をふまえて、(10～3月分)の展示の企画・制作・展示活動ができる。	(予習) 展示案をひと月毎1案以上考え、企画書を作成する。 (課題) 作品制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
20～23	学びの泉グランプリ準備 学びの泉グランプリ学科予選に向けて発表準備を行う (基礎知識の活用・応用)	話し合い 役割分担 プレゼンテーション PC・タブレットを使用した調査を含む	割当たった役割を理解し、各々が最大限努力できる。	(予習) 発表テーマを考えて臨む。 役割に応じて： ・発表用シナリオを作成する。 ・発表用PPを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
24～ 27	掲示 2 大学玄関左手の掲示企画と作成を行う (基礎知識の活用・応用)	話し合い 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	第1回掲示作成時の反省点をふまえて、(10～3月分)の掲示の企画・制作・展示活動ができる。	(予習) 掲示案をひと月毎1案以上考え、企画書を作成する。 (課題) 作品制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
28・ 29	図書館だより 2 図書館だよりの企画と制作を行う (基礎知識の活用・応用) ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより 春号 演習(作成) 作成物の講評(フィードバック) PC・タブレットを使用した調査を含む	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	(予習) 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
30	後期・年間振り返り これまで学んだことを今後の生活にどのように活かしていくか	オンデマンド授業 後期・1年間の作成物と活動の講評	後期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 来年度ゼミ生への引継ぎ事項検討。	(予習) 作成した作品を振り返り、課題をあげることができる。 後期の反省を踏まえ、来年度ゼミ生へ引継ぎ事項を書き出す。 ☆出席課題 後期の反省と課題、1年間の反省と課題、社会人として仕事をするための反省・課題の活かし方を書いてグループクラスルームで提出をする。	45	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109B	総合ゼミナール(大森有希乃) Seminar (Food and nutrition)	大森有希乃		基礎	2	必修	2通年

科目の概要
 人間は生きるための栄養を食事から摂る。「食べることは生きる」は単に栄養を摂取することだけでなく、健康を維持したり、おいしく食べることで心の豊かさを育て、また共に食べることで社会性を育んでいく(ディプロマポリシー①)。「食べることは生きる」であり、食をおいしさ、文化、栄養、安全性など様々な面から考え、食の大切さを理解することは、社会人としての基礎をつくることでもある(ディプロマポリシー①②③④⑤)。これまで獲得してきた知識を活用し、レシピコンテスト、学祭、地域貢献活動などに合わせた献立やレシピを作成し、実際に調理を行って、実践力を身につけていく(ディプロマポリシー④)。そして、常に「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を大切にしながらかゼミ活動を行うことによって、pisa型学力の修得とともに健康な体と健全な精神を修得することを目指していく(ディプロマポリシー①②③④⑤)。また、フードスペシャリスト資格を目指す学生には、ゼミの各テーマが受験科目の復習となるよう配慮し、資格取得を目標とする(ディプロマポリシー⑤)。

学修内容	到達目標
① 食に関する活動(学祭、地域貢献活動など)を通じて、おいしさ、栄養、安全、ビジネスなど食を多面的に考え、食のイベントの企画運営ができる実践力を養う。 ② ライフステージにおける食の特徴と重要性を理解する。 ③ 食物アレルギーについて、基本知識を理解する。 ④ 食に関するコンテストに応募し、コンテストの趣旨にあったレシピを作成する。 ⑤ フードスペシャリスト資格試験に挑戦する。	① 食に関する活動に積極的に参加し、必要な情報を収集してイベントの計画を立て、実践できる(ディプロマポリシー①②③④⑤)。 ② 離乳期、成人期、高齢期の食の特徴を知り、献立や調理方法を考え、自己の食生活に活用できる。(ディプロマポリシー②③④) ③ 食物アレルギーの特徴を理解し、食物アレルギーの課題解決のレシピを提案することができる。(ディプロマポリシー①②③④⑤) ④ 食の問題を見出し、課題解決のレシピを作成し、コンテストに応募することができる。(ディプロマポリシー①②③④⑤) ⑤ フードスペシャリスト資格を取得する。(ディプロマポリシー⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	指示を待つのではなく、シラバスの予習・復習を読み、やるべきことを考えて次の準備や行動を起こす。
	働きかけ力	自分では解決できないことがあった時は、そのままにせずゼミの仲間や先生に相談する。
	実行力	ゼミの活動や資格試験合格に向け、粘り強く取り組み、目標を達成する。
考え抜く力	課題発見力	ゼミ活動の目標達成のために、自分の課題を考えて行動する。
	計画力	イベント参加や資格試験合格に向け、目標と目的を明確にして計画を立て、実行する。
	創造力	一つの知識からだけではなく、いろいろな知識を組み合わせアイデアを考える。
チームで働く力	発信力	相手の目(顔)を見て話し、相手が自分の話を正しく理解しているかの反応をみて、相手に分かりやすく伝える力を身につける。
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをし、大事なことはメモをとりながら聞く。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えも理解しようと努め、よりよい方向に向かって譲歩しながらゼミ活動を進める。
	状況把握力	仲間の行動を見ながら、自分のやるべき役割を考えて行動する。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスを乗り越えれば次は楽になるという前向きな気持ちを持ち、ゼミの仲間や先生に相談したりして取り組むようにする。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。必要に応じて、資料を配布する。
 参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ゼミ選択時においてフードクリエイティブ、フードスペシャリスト関連科目を受講していることが望ましい。
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から自分や家族の食事に関心を持ち、健康的な食生活を送るよう努力して欲しい。 ・料理をする機会を多く持ち、知識と技術を習得し、レシピコンテストに積極的に参加する。 ・食に関する情報に関心を持って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習を行う時は、準備・後片付けの時間も必要となるため、ゼミの時間を延長することもある。 ・授業に必要な費用についてはオリエンテーションで提示する。 ・調理実習時は、身だしなみ(白衣、三角巾着用、爪を切る、アクセサリー、ネイルはつけないなど)に注意する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		40	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①				
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を積極的に発表し、意見をまとめることができる。③レシピ集の制作に積極的に参加し、表紙やあとがきなどを分担し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる。④フードスペシャリスト試験に合格したり、レシピコンテストに参加して入賞するなど、積極的にゼミ活動を行う。</p> <p>S(秀) = ①+②+③または④、A(優) = ①+②</p>	<p>①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を発表することができる。③レシピ集の制作に参加し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる。</p> <p>B(良) = ①+②+③、C(可) = ①+②</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について	講義 グループ討議 グループ討議後、口頭にてフィードバックする。	ゼミの方針を理解できる。 今年度のゼミとしての活動目標・内容を検討し、役割分担をする。	(復習)ゼミでの目標をまとめる。食の問題点を見つけてまとめる。(パソコンを使用し、Googleclassroomで提出する)	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2	郷土料理の継承 ・愛知県の郷土料理についての特徴を学ぶ ・グループに分かれ、テーマを決めて調査や情報収集をする ・愛知県の食品・食材はどのようなものか学ぶ	講義 グループ討議 パソコンを利用し、プレゼンテーションする。 グループ討議後、口頭にてフィードバックする。	愛知県の食材、郷土料理について図書館で調べることができる。 愛知県の郷土料理のレシピを提案できる。	(復習)愛知県の郷土料理のレシピパソコンを使用し、レシピを作成する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
3、4	郷土料理の継承 ・調べた愛知県の郷土料理のレシピを作成し、調理し、郷土料理について学ぶ	実習(グループ) グループで作業の分担、手順を決めて実習が迅速、丁寧に行えるようにする。実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する。(グループで1人)発表後、口頭でフィードバックする。	愛知県の郷土料理のレシピを作成し、グループで調理することができる。	(復習)実習献立についてまとめる (Googleclassroomパソコン使用) (予習)実習の準備を整える	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
5	食品成分表の見方と取り扱い方を学ぶ 料理のエネルギー、塩分の算出について学ぶ 健康的な食事はどのようなものか学ぶ	講義 演習 レシピの栄養価計算を点検し、フィードバックする。	食品成分表の使用法を理解し、献立のエネルギー、塩分量を算出することができる。 健康的な食事について理解できる。	(復習)健康的な食事についてまとめる。 (Googleclassroomでレポート提出あり) (予習)郷土料理を現代風にアレンジしたレシピをパソコンで作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	郷土料理の継承 ・講義、グループワークで獲得した知識を活用し、愛知県の郷土料理を現代風にアレンジしたレシピを作成する ・健康的な食事を理解し、アレンジした郷土料理をバランスの良い一食の献立に展開する	グループワーク グループ討議 パソコンを使用し、レシピを作成する。 レシピコンテストでの入賞をめざして積極的に意見を言う。 口頭でフィードバックする。	愛知県の郷土料理を現代風にアレンジしたレシピを作成できる。 健康的な食事を理解し、主食、主菜、副菜のそろった献立を提案できる。	(復習)レシピを修正する。 (予習)実習の準備を整える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 柔軟性 状況把握力 規律性
7~9	郷土料理の継承 タニタご飯コンテストの応募料理を調理する(現代風にアレンジしたレシピを調理し、郷土料理の新たな魅力を創造する)	実習(グループ) レシピ、料理を点検し、フィードバックする。	愛知県の郷土料理のアレンジレシピを作成し、グループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(予習)材料を準備する。 (復習)決定したレシピを見直し、パソコンで修正する。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	郷土料理の継承 タニタご飯コンテストの応募書類の作成する(現代の食の問題を解決するポイントについてまとめる)	演習 グループワーク 栄養価の計算(パソコン使用) レシピのプレゼンテーション(パソコンを使用)	タニタご飯コンテストの応募用紙を作成し、コンテストに応募することができる。	(復習)郷土料理を継承していくために出来ることをまとめる。 (レポート提出有り) (予習)高齢者の食事、かむことの意味を調べてまとめる。 (Googleclassroomで提出)	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
11	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・歯や口が健康であるための食事について学ぶ ・高齢者の特徴を学び、口から食べることの必要性を認識する。	演習 グループワーク レシピ作成(パソコン使用) プレゼンテーション(パソコン使用) グループワークでプレゼンテーションしたレシピを点検し、フィードバックする。	高齢者の特徴を理解し、高齢者がよく噛んで食べる事ができるレシピを作成することができる。	(復習)レシピを作成する(パソコン使用)。 (予習)材料を準備する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
12、13	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・高齢者がよく噛んで食べることが出来るレシピを立案し、調理する (講義で獲得した知識を活用し、高齢者の食も問題点を見出し、よく噛んで食べることが出来る料理を調理し、高齢者の食も問題を解決する。)	実習(グループ) グループ討議後、口頭でフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(復習) レシピを修正する(パソコン使用)。 (予習) 食物アレルギーについて調べてまとめる。 (Googleclassroomで提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
14	歯ツツピーレシピコンテストに応募する 食物アレルギーについて、アレルギーのメカニズムを学ぶ	演習 レシピ作成(パソコン使用) 作成した応募用紙を点検し、フィードバックする 講義	歯ツツピーレシピコンテストに応募できる 食物アレルギーについて、その特徴と留意点、食事について理解できる。	(復習) 噛むことの意味をまとめる。 (Googleclassroomで提出) (予習) 三大アレルギーを除去したレシピを考える。(パソコンで作成)	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
15	食物アレルギーの代替食について学ぶ。 三大アレルギーを除去したレシピを作成する (講義で獲得した知識を活用し、食物アレルギーの食事の問題点を見出し、食物アレルギーがあってもおいしく食べることが出来るレシピを作成する) 前期のまとめ 夏休みの学修計画	オンデマンドによる講義 レシピ作成(パソコン使用) 作成したレシピを点検し、フィードバックする。	食物アレルギー食のレシピを完成することができる。 前期のゼミ活動の反省から課題を見出し、後期ゼミ活動への提案ができる。	(復習) レシピを作成、修正する。(パソコン使用) 前期を振り返って、ゼミ活動について感想を書く。 (Googleclassroomで提出) (予習) 調理実習の準備	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
16、17	食物アレルギー食(三大アレルギー除去食)の調理	実習(グループ) グループ討議 作成したレシピを点検しフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(復習) レシピを作成し、修正する。(パソコン使用)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 状況把握力 規律性
18	食物アレルギーについて 食物アレルギーレシピコンテストに応募する 三大アレルギーを除去したレシピのポイントをまとめる	演習 グループワーク プレゼンテーション(パソコン使用) 応募用紙を点検し、フィードバックする。	食物アレルギーレシピコンテストに応募できる 食物アレルギーのレシピが作成できる。	(復習) 食物アレルギーについてまとめる。 (Googleclassroomで提出) (予習) 模擬店運営のために必要なことを各自考えてくる必要に応じて、材料を集めてくる。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
19、20	学泉祭への出店(1) ・学泉祭に模擬店を出店する何を提供するか、マーケティングから始め、試作を重ね、商品の開発、試作、包装、販売方法、役割分担など検討する 模擬店の運営の計画を立てる まちづくりプロジェクトの準備	グループ活動 実習後フィードバックする	仲間と協力して、模擬店の商品をつくること ができる 自分の役割を理解し、仲間と協力して模擬店を運営することができる。	(復習) 検討したことをまとめる。 (Googleclassroomで提出) (予習) 乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べる。 (Googleclassroomで提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
21	ライフステージ別の健康と食事について学ぶ 調べてきたことを発表する	講義 発表 発表後コメントする	乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べたことを発表できる。	(復習) 乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
22	地産地消について 米粉の活用について	講義 グループ討議 レシピ作成(パソコン使用) プレゼンテーション(パソコン使用) プレゼンテーション後、口頭でフィードバックする。	愛知県の農畜産物を理解できる。 地産地消のレシピを作成できる。	(復習) レシピを作成、修正する。(パソコン使用) (予習) 調理実習の準備	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
23、 24	地産地消、米粉活用の調理実習	実習(グループ)グループ討議 作成したレシピを点検しフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	(復習) レシピを作成し、修正する。(パソコン使用)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
25	身近な食について考える 成人女性の1日の食事の摂り方を考え、バランスのよい食事を学ぶ	講義 グループワーク グループ討議後、口頭でフィードバックする。	成人女性の1日に必要な栄養素をバランスよく摂取できる献立を考えることができる。	(復習) レシピを完成させる。 (予習) 調理実習の準備、レシピを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
26、 27	食物アレルギーについて みんな一緒にのクリスマス会の企画・準備	演習 実習(グループ)グループ発表後、口頭でフィードバックする。	食物アレルギーのある子もいない子も一緒に楽しむことができるクリスマス会の企画を立案することができる。	(復習) みんな一緒にのクリスマス会の企画をまとめる。 (Googleclassroomで提出) (予習) 年中行事と食文化を調べてまとめる。 (Googleclassroomで提出)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
28、 29	食文化を学び、継承する 年中行事と食文化を学び、調理する	実習(グループ)グループ討議後、口頭でフィードバックする。	日本の年中行事と食文化について理解し、仲間と協力し、調理実習を行い、写真を撮ってレシピを完成させることができる。	(予習) 調理実習の準備、レシピを作成する。(パソコン使用) (復習) レシピを完成させる。(パソコン使用)	180	主体性 実行力 計画力 状況把握力 規律性
30	ゼミ活動のまとめ レシピ集を完成させる	オンデマンドによる講義 パソコンを使用してレシピ集を作成する 1年間のゼミ活動を振り返り、フィードバックする。	1年間のゼミ活動のレシピ集を完成させることができる。 ゼミ活動をまとめることができる。	(復習) 1年の活動を振り返ることができる。 (Googleclassroomで提出)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109G	総合ゼミナール(河合龍二)	河合龍二		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

このゼミは、「自己表現力を磨こう」をテーマとする。文字表現・文章表現・音声表現から造形表現・身体表現まで、さまざま分野にな挑戦する。その過程で適性や潜在能力に気づき、自らの可能性を広げることをねらいとする。成果物を残し、集約して発表する機会をつくる。(ディプロマ・ポリシー①②③④⑤)

学修内容	到達目標
① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践する。 ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ④ 多様な造形表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ⑤ 多様な身体表現のしかたについて理解を深め、実践する。	① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践することができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④⑤) ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④⑤) ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④⑤) ④ 多様な造形表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④⑤) ⑤ 多様な身体表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。(ディプロマ・ポリシー①②③④⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業での対話や実践などに、自ら積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	自ら得意とする分野に関する知識やスキルを、他に伝授できる。
	実行力	目標を定め、課題への取り組みを確実に進めていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	さまざまなことにチャレンジする中で、適性や潜在能力に気づき、自らの課題を発見し才能を伸長することができる。
	計画力	個人またはチームの作品制作について、タイムスケジュールを立てて準備できる。
	創造力	個人またはチームのテーマについて成果を上げる方策を考え、独自の表現ができる。
チームで働く力	発信力	ゼミ全体の共通テーマについて、各自の表現スキルを組み合わせ、創造作品あるいは創作劇等の成果発表に貢献できる。その過程で、表現のポイントを踏まえ意図が伝わるように工夫できる。
	傾聴力	ゼミ活動の重点、他の学生の発表や創作の要点、グループ内の発言を的確につかみ、長所を見抜いて評価できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。
参考文献：表現スキルについて、SNS上に先駆者のレクチャー動画が多くある。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
学生の主体的活動によって成り立つ講座である。本学が掲げる「三つの挑戦」を体現する。河合は水を向けるものの、予定調和なプログラムを押し付けない。何を表現したいのか、自身に問い続けてほしい。個別最適な学修を目指そう。	恥をかくことが許される学生時代に、自身の才能に気付こう。そのためには、健康とチャレンジ精神とが大切である。自由な対話ができる雰囲気の中で、自らテーマを設定する。個人で活動することも構わない。チームあるいは全体で取り組むことで成果を上げることができるテーマを設定してもよい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
					⑤					
		レポート		30	①	✓				
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
					⑤	✓				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、自ら進んで計画的に物事を進め、積極的に実践し、その成果も優れている。個人活動あるいはグループワークで、他者を配慮した心遣いができる。リーダーシップがあり、発表や作品づくりにおいて指導的役割を果たすことができる。</p> <p>Aは、Sまでとはいかないが、上記内容をおおむね充足している。</p>	<p>Bは、自ら進んで物事を進め、実践の意欲は感じられ、その成果もまずまずである。個人活動あるいはグループワークで、地道に努力している。リーダーを補佐する役割を果たすことができる。</p> <p>Cは、上記内容をおおむね充足しているが、積極性に欠ける。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの概要と年間計画 文字・言葉選びの工夫と効果①(単元全4回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。)語彙力の大切さ	講義・作品創作 ・シラバスと学泉ノートにより、ゼミナールの概要と年間計画を概観する。 語彙を増やす方法を考える。 ・スマートフォン等で調べ学習をし、成果物(作品、動画等)を蓄積し、適宜短大Instagram等で発表する。(以下、通年で同じ。)	・ゼミナールの概要と年間計画を理解できる。 ・ドリル学習ではない方法で語彙力を身に付けるアイデアを提案できる。	(復習)ゼミナールの年間計画に各自の目標を位置付ける。振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	180	課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
2	文字・言葉選びの工夫と効果② 人柄が表れると言われる字の書き方と、相手に伝えるメッセージを考える。	作品創作 硬筆や毛筆、その他の書具を使った表現の可能性を探る。何で何を書くかを考える。「美文字」についても触れる。	「何で何を書くか」について、アイデアを提案できる。	(予習)作品創作 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
3	文字・言葉選びの工夫と効果③ 印象に残る「今日の一文(金言)」「今日の言葉」の企画、製作。	作品創作 一週間カレンダー(7字・7語)あるいは月別カレンダー(12字・12語)を製作する。	創作の進捗状況を発表できる。	(予習)作品創作 (復習)振り返りシートを基に、発表体験を通して何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 規律性
4	文字・言葉選びの工夫と効果④ 文字・言葉選びの工夫と効果のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	一週間カレンダー(7字・7語)あるいは月別カレンダー(12字・12語)をPPで発表できる。あるいは実物を紹介できる。	(予習)発表の準備をしておく。 (復習)発表体験を通して何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	文章表現①(全5回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。)俳句の創作。季語について理解する。	講義・創作・句会ライブ 作品の批評会を行い、相互評価をする。	俳句を三句創作できる。	(予習)作品創作 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	文章表現② 和歌(短歌)の創作。 修辞技法について理解する。	講義・創作・歌会ライブ 作品の批評会を行い、相互評価をする。	短歌を三句創作できる。	(予習)作品創作 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	文章表現③ 漢詩の創作。押韻と対句について理解する。	講義・創作・鑑賞会 作品の批評会を行い、相互評価をする。	漢詩を一つ創作できる。	(予習)作品創作 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	文章表現④ 物語、絵本のシナリオを創作する。あるいは作詩・作詞をする。	作品創作 物語、絵本のシナリオを創作する。あるいは作詩・作詞をする。	物語やシナリオのあらすじを発表できる。あるいはオリジナルの詩、歌にのせる詞を発表できる。	(予習)作品創作 (復習)振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができたようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文章表現⑤ 文章表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで 創作した作品を発表 し、相互評価をする。	物語やシナリオのあら すじを発表できる。 オリジナルの詩、曲に のせる詞を発表でき る。	(予習) 発表の準備を しておく。 (復習) 発表体験を通 して何が分かったか、 何ができるようになっ たかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	音声表現①(全5回の 学修内容例から選択。 あるいは独自創作。) アナウンス、朗読、読 み聞かせ、ナレーショ ンについて理解する。	作品(実演) 創作 発音、発声、滑舌、無 声化、卓立、アクセシ ョン、イントネーション 等のスキルを理解し、 身に付ける努力を始め る。	声帯を使った音声表現 スキルを理解できる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分かっ たか、何ができるよう になったかを確認す る。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
11	音声表現② スピーチ 群読につい て理解する。	作品(実演) 創作 聴衆を意識した表現、 集団での表現について 理解し、身に付ける努 力を始める。	相手に伝わるようにす る工夫を提案できる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分かっ たか、何ができるよう になったかを確認す る。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
12	音声表現③ 歌唱、演奏、作曲、 ヒューマンビートボッ クスについて理解す る。	作品(実演) 創作 音声表現の多様性につ いて理解する。 得意とする学生が、苦 手意識をもつ学生を指 導する。	相手に伝わるようにす る工夫を提案できる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分かっ たか、何ができるよう になったかを確認す る。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
13	音声表現④ 効果音、音響について 理解する。	作品(実演) 創作 音声表現の多様性につ いて理解する。 得意とする学生が、苦 手意識をもつ学生を指 導する。	相手に伝わるようにす る工夫を提案できる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分かっ たか、何ができるよう になったかを確認す る。発表の準備をす る。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
14	音声表現⑤ 音声表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで 創作した作品を発表 し、相互評価をする。	音声を使った動画ある いは実演を、個人で、 あるいはグループで発 表できる。	(予習) 発表の準備を しておく。 (復習) 発表体験を通 して何が分かったか、 何ができるようになっ たかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド 造形表現の企画と準備 計画	視聴とレポート提出 レポートは、造形表現 の企画書とする。夏季 休業を有効に過ごすこ とを考える。	期限を守ってレポート を提出できる。 造形表現に向けて、夏 季休業中の下準備を計 画できる。	(復習) 造形表現の準 備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
16	造形表現①(全5回の 学修内容例から選択。 あるいは独自創作。) 工作、はりぼて、写 真、大道具等のアイデ ア、企画を提案する。	作品創作 造形のねらいを明確に し、製作工程を考え る。	作品の企画を提案でき る。	(予習) 企画書(案) を提出できるようにし ておく。 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分かっ たか、何ができるよう になったかを確認す る。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	造形表現② 絵画、イラスト、手芸、折り紙、ペーパークラフト、衣装、小道具等のアイデア・企画を提案する。	作品創作 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を創作する。	作品の企画を提案し、創作に励むことができる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
18	造形表現③ 絵画、イラスト、手芸、折り紙、ペーパークラフト、衣装、小道具等を創作する。	作品創作 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を創作する。	作品の創作に励むことができる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
19	造形表現④ 華道、茶道、書道、写真、デジタル動画等のアイデア・企画を創作する。	作品創作 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を創作する。	作品の創作に励むことができる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 状況把握力 規律性
20	造形表現⑤ 造形表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	造形作品を、個人で、あるいはグループで発表できる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21	身体表現①(全5回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。)ゼスチャー、パントマイム、演技等について理解し、実践してみる。	作品(実演) 創作 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	(予習) 企画書を提出できるようにしておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 計画力 創造力 柔軟性 規律性
22	身体表現② 振り付け、創作ダンス等について理解し、実践してみる。	作品(実演) 創作 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
23	身体表現③ 群舞等について理解し、実践してみる。	作品(実演) 創作 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
24	身体表現④ ゼミ全体で創作する総合作品の構想を練り、テーマ、発表場所、観衆に伝える方策等の工程を考える。	作品(実演) 創作 それぞれのアイデアを確認する。自身の役割を考える。	作品の構想や工程を考え、自身のアイデアを発信することができる。	(予習) 作品創作 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	身体表現⑤ 身体表現のまとめ 成果発表・鑑賞会。	成果発表会 個人あるいはチームで 創作した作品を発表 し、相互評価をする。	身体表現の動画あるい は実演を、個人で、あ るいはグループで発表 できる。	(予習) 発表の準備を しておく (復習) 発表体験を通 して何が分かったか、 何ができるようになっ たかを確認する。	180	主体性 働きかけ 力 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26	総合作品創作①(全4 回の学修内容例から選 択。あるいは独自創 作。) 未だ挑戦していない表 現、やり残したことに 挑戦する。 企画書作成	作品(実演)創作 チームあるいは全体で 挑戦する場合、役割分 担をし、自身のミッ ションを確認する。	作品の構想や工程を考 え、自身のアイデアを 発信することができる。	(予習) 企画書(案) を考えておく。 (復習) 振り返りシー トを基に、何が分かっ たか、何ができるよう になったかを確認す る。	180	主体性 実行力 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 規律性
27	総合作品創作② 企画に沿った準備をす る。	作品(実演)創作 自身のミッションを果 たす。	工程表どおり準備を進 めることができる。	(予習) 作品創作 (復習) 自身の役割を 果たす努力をする。振 り返りシートを基に、 何が分かったか、何が できるようになったか を確認する。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 規律性
28	総合作品創作③ 企画に沿った準備をす る。	作品(実演)創作 自身のミッションを果 たす。	工程表どおり準備を進 めることができる。	(予習) 作品創作 (復習) 自身の役割を 果たす努力をする。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 規律性
29	総合作品創作④ 総合表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人、チームあるいは 全体で創作した作品を 発表し、相互評価をす る。	成果を個人、チームあ るいは全体で発表でき る。	(予習) 発表の準備を しておく (復習) 発表体験を通 して何が分かったか、 何ができるようになっ たかを確認する。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
30	オンデマンド 成果の振り返り 卒業後の創作への意欲 喚起	視聴とレポート提出 「生涯学習の充実～私 が挑戦したいこと～」 テーマとする。	期限を守ってレポート を提出できる。 的確な自己評価をして いる。 自身の生涯学習を充実 させる意欲が見られ る。	(復習) 1年を振り返 り、何が分かったか、 何ができるようになっ たかを確認する。	180	主体性 課題発見 力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109E	総合ゼミナール(木村典子) Seminar (Health and Old welfare)	木村典子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ「健康について考えてみよう」
健康は人生を生き抜いていくために必要不可欠なものです。今日、多くの健康法が論じられています。身体・精神・社会面からホリスティックに人間を捉え、健康について考えてみたいと思います。(DP③)
また、多世代との交流の場を設けます。企画、運営、振り返りを通して、計画力を養ってもらいたいと思っています。(②)健康に関することをテーマにして、アンケートや聞き取りを通して、健康について考えていきたいと思っています。多くの課題を社会人基礎力の要素を意識し、一つ一つ丁寧に実践、振り返りを通して、また、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切に、ゼミ生、多くの人たちとの交流を通して、特にチームで働く力の修得を目指していきます。(DP①②④⑤)
また、健康に関する検定にゼミ生、全員でとり組み、自分の健康、家族をはじめとした周囲の人たちの健康についてもアドバイスできる能力を養うことを目指します。(DP②③④⑤)

学修内容	到達目標
① 健康評価の質問紙などを活用して、自らの健康状態をアセスメントすることを学ぶ ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけることを学ぶ。 ③ 医療・福祉の現場に出かけ、体験的に現場の現状を学ぶ。 ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を振り返り、チームで働く力を身につけ、さまざまな年代の方と接して、健康とライフサイクルを考える。 ⑤ ゼミ活動をまとめ、ゼミ内、学内外、の場で発表し、発信力を養う。 ⑥ 健康管理能力検定2級など、2つ以上の検定に向けて、挑戦をする。	① 健康評価指標をもとに、自らの健康状態を把握し、よりよい状態を保つための健康管理について説明できる。(DP②③④) ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけ、説明できる。(DP①②③④⑤) ③ 医療・福祉現場の機能と役割について述べるができる。(DP①②③④) ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、十分に発揮することができる。(DP①②③④⑤) ⑤ 資料を作成して、ゼミ活動を他者にわかりやすく伝えることができる。(DP①②③④⑤) ⑥ 健康管理能力検定などの検定2つ以上挑戦する。(DP②③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。
	働きかけ力	迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。
	実行力	目標(ゼミ活動、検定合格)を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。思いつきで行動しない。根拠あるデータをさぐることができる。
	計画力	目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見が述べるができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて行動できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。事前に課題を出します。次回のグループワークにつながりますので行ってください。	講義と文献学習、実践、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。授業では文献検索など、主体的に学習をして、健康について理解を深めていってもらいます。多くの資料を読んでわかったことを自分の言葉で表現できることを求めています。また、授業態度は課題に対して社会人基礎力を培おうとしているか評価します。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	0	①	⑥				
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	小テスト	0	①	⑥				
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	レポート	40	①	✓		⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法が述べられている。 ライフサイクルと健康(子ども、成人、高齢者)についてまとめている。 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係をまとめ、自己の健康に結びつけている。 見学を通して、施設の役割を述べている。 活動を通して、接した人達とのコミュニケーションを通して学んだことを文献を踏まえて述べている。 ゼミ活動を通して、自己の変化を振り返り、次の目標をもっている。
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
平常評価	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> pisa型学力 授業で学んだこととをもとに、SDGs活動、まちづくり活動などの活動を企画、提案をできる。提案した企画を実施し、振り返りをする。これらの過程をわかりやすくパワーポイントにまとめ、説明できる。 授業の冒頭で、ゼミ活動の進捗状況を確認するために発表を行う。 2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。 ゼミ活動について発する機会を学内外で設けるその場で、他者にわかりやすく伝えるための資料を作成し、工夫をして伝えることができる。 「私の家族の健康マニュアル」が作成できる。 文献を活用して、エビデンスの高いデータをもとに、わかりやすく図や表を入れて作成できる。 ゼミの学外での活動、自己学習ノート、検定へとりくみについて評価する。 	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できている。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 (働きかけ力) 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。 (実行力) 目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。 (課題発見力) 資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、運動させて考えることができる。 (計画力) 目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 (創造力) 課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。 (柔軟性) 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。 (状況把握力) メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて、行動できる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 (ストレスコントロール力) メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。 	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>秀</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者にもアドバイスできる。 ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行え、タイムマネージメントができる。 レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 ゼミの時間割外での活動に積極的に参加することができる。 社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 <p>優</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者へのアドバイスできる。 ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、目標をもつことができる。 ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れることができる。 レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 ゼミの時間割外での活動に参加することができる。 社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 	<p>良</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようとする努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 レポート、作品が期日までにでき、他者に説明することができる。 社会人基礎力に関する行動事例が達成しようとする努力できる。 <p>可</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようとする努力が行動がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について ・私の思い出のお菓子と回想法	講義と演習	ゼミの方針を理解する役割分担に積極的に協力する。	復習) 自分のやりたいことをまとめてレポートにする(予習) まちづくりプロジェクトの発表の準備をする。私の思い出のお菓子の歴史と自分の成長をリンクさせて考えてみる。	60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2・3	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト、災害対策 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	(復習) まち歩き、調査の結果をまとめる。(予習) PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4・5	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト、災害対策 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	(復習) まち歩き、調査の結果をまとめる。(予習) PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6・7	私の成長と私の思い出のお菓子	プレゼンテーション 講義(回想法とは) 演習	回想法の効用と行い方について理解する。	(復習) 回想法についてまとめる。(予習) 認知症カフェ、サロン活動のレクリエーションとして活用できる回想法のツールを作成する	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8	自分でできる健康度チェック 客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価する。 血圧、脈拍、アミラーゼ、皮膚の弾力性	プレゼンテーション 演習	客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価していき、自分の健康について考えることができる。	(復習) 自己の健康管理のレポート作成をする。(予習) ストレスと自律神経についてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
9	心の健康と自己コントロール。文献を読んで、心の健康について考えていきます。	プレゼンテーション演習	文献を読んで、自分の意見を発表できる。	復習) 発表のための資料作成。 心の健康 手記を読んで考えたこと(予習) まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト 企画を考えていきます SDGs活動、OKフード活動の提案をカード法を用いて、みんなで検討していきます。地域住民からとったデータ、実際の活動から考える	演習 プレゼンテーション 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	よりよいOKフード活動、まちづくりについて、自分の言葉で説明できる。	(復習) 発表のための資料作成心の健康 手記を読んで考えたこと(予習) まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施する。触れるケア背部マッサージハンドマッサージ	プレゼンテーション 実験エッセンシャルオイルによってのアミラーゼの変化	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施の企画、運営、振り返りができる。	(予習) 皮膚感覚の解剖生理について調べてくるアロマセラピーの効用(復習) 企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
14・15	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康 SDGS活動をするために、企画書を計画し、予行練習する。 生デまちづくりプロジェクト 今までのSDGS活動、サロン活動、認知症カフェ活動、まち歩き、調査したデータをもとに、よりよいサロンの提案ができる。	演習 プレゼンテーション	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康の関係について説明できる。 企画、運営、振り返りができる。 A3一枚に、わかりやすく、矢作北地域の特徴をまとめることができる。	(予習)生活と健康について、ゼミで分担して調べる(復習)認知症カフェ、こどもまつり企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
16・17	学校祭に参加について検討 生デまちづくりプロジェクト	演習 発表	企画、運営、振り返りができる。	(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
18・19	SDGS活動、まちづくりプロジェクト 認知症カフェに参加のための企画と準備	演習 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	企画、運営、振り返りができる。	(予習)学祭に向けて、より良い品が提供できるように近隣のスーパーの市場調査ができる。(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
20・21	ゼミ発表に向けて、チームで、役割分担を決め、進める	演習 プレゼンテーション	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)案を各自、考えてくる。(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
22～24	健康に関する調査を実施し、統計処理をし、まとめる。 KJ法にて質問紙を作成していく。 作った質問紙のプレ調査を実施 修正 調査の実施 統計処理 各分担で表、図の作成 発表資料の作成	演習 プレゼンテーション	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(予習)健康に関する資料(意中誌)を収集し、書いてあることをまとめる。(復習)分担されたデータ処理し、まとめ、進捗状況を毎回、発表し、チームで話し合いができる資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
25・26	ウォーキングの効用を調べ、矢作北地域の特徴を活かしたウォーキングマップの作成とウォーキングの実施	演習 プレゼンテーション	チームで分担し、ウォーキングマップが作成できる。 我が家の健康マニュアルの作成できる。	予習)ウォーキングの効用、矢作北地域の特徴を調べる。(復習)チームで分担された資料を作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
27・28	我が家の健康マニュアルの作成 家族の健康状態を客観的データをもとに分析する。	プレゼンテーション 演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)我が家の健康問題を考えてくる。 (復習)我が家の健康マニュアルの作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
29・30	健康を保つためにゼミ活動の発表 学生フォーラムなど学外で、ゼミ活動の成果を発表	演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)一年のゼミ活動を発表するための資料を収集する(復習)一年のゼミ活動を振り返り、自己学習ノートを整理、作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109I	総合ゼミナール(杉浦菜穂子) Synthesis Seminar	杉浦菜穂子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「ファッションクリエイティブデザインーファッションを通してできることを考えるー」
被服製作・ファッションについての専門的な知識を修得します。専門知識を活用し、ファッションの力で出来ることを考案、地域貢献活動を実践しアパレル業界の問題解決を目指します。CO₂排出量の増加による地球温暖化が社会問題としてクローズアップされるなか、世界2位の環境汚染産業といわれるアパレル業界においてSDGsを意識した被服製作活動は必須条件です。ジェンダーフリー、ジェネレーションフリーでトレンドを捉えたデザインとはなにかを考え、障がいのある方でも若者でも高齢者でも、だれでも着られる、着やすい作品を創造します。人間の体は一人ひとり違います。個性を大切にしたファッションとは何かを考え、研究していきます。また、ファッションショーに向け「私が1番輝く服」をテーマにデザインし、SDGsを意識した製作活動を進めます。洋裁の基本はもとより、ショー作品を製作することによって、より専門的で高度な洋裁技術を体得します。ゼミ活動を通して建学の精神を実践し、社会人基礎力を身に付け、製作したショー作品を着装して発表することにより、潜在能力の開発を目指していきます。ショー作品製作では獲得した知識を活用し、デザイン画に沿った作品になるよう課題解決を行います。これはディプロマポリシーの①と④に相当し、これらを身に付けるために行います。

学修内容	到達目標
① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作する。 ② ファッション環境について市場調査し、分析する。 ③ ファッショントレンドを捉えてデザイン画を描き、製作する。製作したショー作品は、着装して発表する。	① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作することができる。これはディプロマポリシーの①と②に相当し、これらを身に付けるために行います。 ② SDGsに基づき、サステイナブルなファッションデザイン画を作成することができる。これはディプロマポリシーの①と④に相当し、これらを身に付けるために行います。 ③ 製作した作品をトータルコーディネートして着装し、ファッションショーで発表することにより潜在能力を伸ばすことができる。これはディプロマポリシーの⑤に相当し、これらを身に付けるために行います。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	ファッションについて情報を積極的に収集し、様々なスタイル傾向を捉える。教員が提示する社会人基礎力を授業で意識して受講することができる。
	働きかけ力	
	実行力	自ら立てた目標達成に向けて、具体的に行動することができる。
考え抜く力	課題発見力	トレンドを分析し、着用するうえでの問題点を考えながらデザインを行うことができる。縫製方法を工夫することができる。
	計画力	
	創造力	環境に配慮し、個々に寄り添い対応したサステイナブルファッションを考え、新しいファッションスタイルを提案することができる。
チームで働く力	発信力	発表会では、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。自身の作品を表現することができる。
	傾聴力	チーム活動では互いの考えをディベートし、製作や研究に活かすことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント配布
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッション造形、やさしいソーイング、アパレルパターンメイキング、コスチュームデザイン
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
ファッションを通じて社会情勢に関心を持ちましょう。ゼミ活動を通じて四大精神を実践し社会人基礎力を身に付け、1年で確かな成長を目指しましょう。洋裁の技術修得には時間がかかりますが、こつこつと努力を重ね身に付けていきましょう。	欠席せず、時間、ルール、提出物期限を厳守する。提出物に不備がないかを提出前に確認し、丁寧に仕上げること。携帯電話の電源は切り、鞆に入れておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS 下記に加えて、チーム活動において、自分の意見をしっかりと発信し、統率力を発揮することができる。作品制作では、完成度の高い構成で表現されオリジナリティがある。</p> <p>到達レベルA 作品制作に対して一生懸命に取り組み、デザイン性に優れた完成度の高い作品として仕上がっている。</p>	<p>到達レベルB 自分でデザインし、作品を制作することができる。</p> <p>到達レベルC 上記の内容に対して、提出物の遅延・不備がある。プロジェクト活動に対して意欲的な姿勢がみられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の内容説明や スケジュール説明を行 う。 学泉祭ファッション ショーの説明、デザイ ン画下絵制作。	講義と質疑応答 教員が1年間の活動内容を 説明する。 グループワーク：パソコン を利用し、学泉祭ファッ ションショー過去作品作 品、外部ショー作品の情報 を収集・分析しまとめる。 デザイン画を点検し、 フィードバックする。	ゼミの内容を理解し、 ゼミの概要が分かる。 学泉祭ファッション ショーの特徴を掴み、 テーマに沿ったデザイ ン画アウトラインを制 作できる。	(予習) シラバスを読 み、ゼミの内容を捉え る。学泉祭ファッショ ンショー過去作品作 品を調べる。デザイン画 下書き。 (復習) デザイン画ア ウトラインを完成させ る。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	学泉祭ファッション ショー デザイン画着 色・バック着色	演習 教員の説明後、デザイ ン画制作を行う。デザ イン画を点検し、 フィードバックする。	デザイン画に着色す ることができる。バック に着色することができる。	(予習) デザイン画の アウトラインペン入 れ。配色を考案してく る。 (復習) 配色パターン を2~3パターン考案す る。	90	主体性 実行力 課題発 見力
3	ショー作品製作 採寸し、原型を作成す る。	演習 教員が原型について説 明後、パターンメイ キングを行う。原型を点 検し、フィードバック する。	採寸をし、原型を作成 できる。	(予習) ショー作品の デザインについて調べ る。自身の寸法を確認 する。 (復習) 原型を完成さ せる。	90	主体性 実行力 創造力
4	ショー作品製作 コンテストに向けてを 製作をする。 縫製方法を学修し、パ ターンメイキングす る。	演習 教員がパターンのひき かたついて説明後、パ ターンメイキングを行 う。パターンを点検 し、フィードバックす る。	パターンを仕上げるこ とができる。	(予習) 自身の出来上 がり寸法を確認する。 (復習) パターンの見 直し、展開を行い完成 させる。	90	主体性 実行力 創造力
5	ショー作品製作 布購入準備・素材研究 コンテスト作品、発表 作品の素材研究・手工 程の考案を行う。	演習 教員がショー作品の素 材について説明後、素 材について調べ、手工 程を考案し、試作す る。	デザイン画に合った素 材を理解し、手工程を 考案することができる。	(予習) 布の使用量に ついてについて調べ る。 (復習) 布を購入し、 地直しを行う。	90	主体性 実行力 創造力
6	ショー作品製作 コンテスト、発表に向 けて作品を製作する。 布裁断・印付けを行 う。	演習 教員が布裁断方法につ いて説明後、裁断・印 付けを行う。印を点検 し、フィードバックす る。	布を裁断することがで きる。	(予習) パターン チェックをしてくる。 (復習) デイティールの 縫製方法について調 べてくる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力
7	ショー作品製作 発表に向けて作品を製 作する。 仮縫いを行う。	演習 教員が仮縫い方法につ いて説明後、仮縫い を行う。提出物を点検 し、フィードバックす る。	仮縫いをすることがで きる。	(予習) デイティール の縫製方法について調 べてくる。 (復習) 仮縫いをして くる。	90	主体性 実行力 傾聴力
8	ショー作品製作 発表に向けて作品を製 作する。 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正につ いて説明後、各自製作 を行う。提出物を点検 し、フィードバックす る。	仮縫い試着・補正を行 うことができる。	(予習) 仮縫いをして くる。 (復習) パターンの直 しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ショー作品製作 発表に向けて作品を製作する。 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断について説明後、各自裁断を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	本番用布を裁断することができる。	(予習) 補正をしてくる。 (復習) 布地に合った印付けをしてくる。	90	主体性 実行力 創造力
10	ショー作品製作に向けての基礎縫い 作品を製作するにあたり、ICTを活用し基礎縫いを行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、ICTを活用教材「GFP」を使用し、縫製を行う。クラスルーム上に提出された課題を点検し、フィードバックする。	トップスの縫製ができる。	(予習) トップスのミシン準備。 (復習) トップスの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11	ショー作品製作 発表に向けて作品を製作する。 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムスの縫製ができる。	(予習) トップスの完成。 (復習) ボトムスの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
12	ショー作品製作 発表に向けて作品を製作する。 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	小物を製作できる。	(予習) ボトムスの完成。 (復習) 小物の完成。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13	学泉祭ショー作品を製作する。 グループでテーマを決定し、テーマに沿ったグループ作品デザイン画を作成する。	演習・グループワーク 教員が説明後、グループでテーマ決定。デザイン画を作成する。制作計画書を書く。提出物(D画・計画書)を点検し、フィードバックする。	グループ作品のデザイン画を考え、制作計画を立てることができる。	(予習) グループ作品デザイン画下書き。 (復習) デザイン画を完成させる。布購入。	90	主体性 実行力 創造力
14	学泉祭ショー作品を製作する。 パターンを作成する。	演習 教員が説明後、デザイン画をもとにパターンを作成する。提出物を点検し、フィードバックする。	学泉祭作品のパターンメイキングができる。	(予習) 布を購入し、必要材料を準備してくる。 (復習) パターンのカット・確認。	90	実行力 課題発見力 創造力
15	学泉祭ショー作品発表・プレゼンテーション(オンデマンド) 他作品を鑑賞し、自身の次作品に活かせるよう分析する。	演習 オンデマンド クラスルームを使用しクラスルームにあげられた他作品画像と作品説明をみて分析し、レポートにまとめ、クラスルームに提出する。提出物を点検し、フィードバックする。	自作品、他作品のデザイン、縫製方法、ディテールの長所や短所を分析し、レポートにまとめクラスルームに課題提出することができる。	(予習) 自身の学泉祭ショー作品の解説書を作成し、クラスルームに提出する。 (復習) 作品に改善点等がないか確認し、次作品の製作計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力
16	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力
18	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力
19	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 縫製予定まで進めてくる。 (復習) 縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 創造力
20	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。 小物を制作する。	演習 教員の説明後、トータルコーディネートを考え、小物を制作する。	作品を完成させる。発表作品をトータルコーディネートした小物を制作し、効果的な発表方法を考えることができる。	(予習) ヘッドアクセサリ・アクセサリ・シューズのデザイン収集。材料準備。 (復習) 発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
21	卒業ファッションショーテーマ考案 卒業ファッションショーのテーマを考案する。	講義・グループワーク 教員が昨年の卒業ファッションショーについて説明後、各自テーマ考案。提出物(各自考案したテーマ)を点検し、フィードバックする。	卒業ファッションショーの主旨について理解し、テーマを考案することができる。	(予習) 卒業ファッションショーテーマを考えてくる。 (復習) 他者の意見を聞き、卒業ファッションショーテーマにふさわしいものを考える。卒業作品デザイン画考案。	90	主体性 実行力 創造力
22	卒業作品製作 デザイン画を作成する。 デザイン、着色し、背景、全体の仕上がり、素材を考える。	演習 教員がデザイン画について説明後、各自デザイン画の着色を行う。提出物(D画)を点検し、フィードバックする。	デザイン画に着色し、背景・全体を仕上げることができる。	(予習) 着色画材を何パターンか用意してくる。 (復習) デザイン画を着色し、完成させる。	90	主体性 実行力 創造力
23	卒業作品製作 パターンメイキング 布購入準備・素材研究 作品の素材研究・手工程の考案を行う。	演習 教員がパターンメイキング・素材について説明後、製図する。素材について調べ、手工程を考案し、試作する。	パターンメイキングができる。 デザイン画に合った素材を理解し、手工程を考案することができる。	(予習) 素材・手工程について調べる。 (復習) 布の使用量について調べる。	90	主体性 実行力 創造力
24	卒業作品製作 パターン展開、仮縫いを行う。	演習 教員がパターン展開について説明後、各自展開を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	パターンを展開することができる。仮縫い用布を裁断することができる。	(予習) 仮縫い用布を準備する。 (復習) 仮縫いをしていく。	90	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	卒業作品製作 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正について説明後、各自試着・補正を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫いの試着・補正を行うことができる。	(予習) 仮縫いをしてくる。 (復習) 布を購入し、地直しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
26	針供養	演習 教員が針供養の意義について説明後、供養、埋針を行う。	針供養の意義について理解し、レポート作成できる。	(予習) 針供養について調べてくる。 (復習) 針供養・四大精神についてまとめ、レポートを作成。	90	主体性 実行力 創造力
27	卒業作品製作 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断方法・縫い代について説明後、各自裁断を行う。裁断された本番用布を点検し、フィードバックする。	本番用布の縫製方法を考慮し、縫い代をつけ裁断することができる。	(予習) 縫製計画を立てる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 創造力
28	卒業作品製作 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	(予習) 手工程を考案し、試作してくる。 (復習) 縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 創造力
29	卒業作品製作 縫製を行う。 小物制作を行う。	演習 教員が縫製方法・小物について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。小物を制作することができる。	(予習) ヘッドアクセサリ・アクセサリ・シューズのデザイン収集。材料準備。 (復習) 発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
30	作品・成果発表会(オンデマンド) ゼミ活動のまとめ クラスルームを使用して他作品を鑑賞し、自己作品の分析と1年間のゼミ活動の活動を振り返り、卒業後の目標設定を行う。	演習 オンデマンド クラスルームにあげられた他作品画像と作品説明をみて分析し、レポートにまとめ、クラスルームに提出する。提出物を点検し、フィードバックする。	卒業作品を発表し、ゼミ活動の総まとめのレポートを作成することができる。自作品、他作品のデザイン、縫製方法、ディテールの長所や短所を分析し、レポートにまとめ、クラスルームに課題提出することができる。	(予習) 卒業作品の解説書を作成し、クラスルームに課題提出する。 (復習) 発表の反省とゼミ活動を振り返りまとめたレポートを作成し、クラスルームに課題提出する。	90	実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109C	総合ゼミナール(鈴木 尊士) Synthesis Seminar	鈴木 尊士		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

このゼミは、観光の現場に着目した実践的な学びを重視する。マーケティング、経営学、経済学、工学、心理学、景観論といった学問分野の視点から、観光とビジネス、観光と地域づくり、また観光の果たす役割について自ら調べ学び成果物を形にし、発表する機会を作る。世界に進出しても恥じないためにも「建学の精神」、「社会人基礎力」、「pisa型学力」を学修する。この授業は、ディプロマ・ポリシーの①④⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 岡崎の観光について理解する ② 日本の観光政策について調査し、分析する。 ③ 世界の文化や歴史を知る ④ グループワークを行う際に協力し作業をする	① 岡崎の歴史について理解し自分の言葉で説明できる。(ディプロマ・ポリシー①④⑤に相当する) ② 観光立国としての現状について明快に理解人に伝えることができる。(ディプロマ・ポリシー②⑤に相当する) ③ 世界の異なる文化や歴史の大切さを理解し説明できる。(ディプロマ・ポリシー④⑤に相当する) ④ 周りに配慮し協調性をもって人と接する事ができる。(ディプロマ・ポリシー①④⑤に相当する)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	観光について情報を積極的に収集し、興味関心をもって、自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	自ら設定した目標に向けて、知識を得て、問題解決に向けて諦めることなく最後まで一生懸命に努力することができる。
考え抜く力	課題発見力	日常生活において観光に関わる事を発見し疑問を持つことができる。
	計画力	旅行の計画を作成する際に、時間内に作業を進めるために手順をしっかりと考え行動することができる。
	創造力	固定概念にとらわれず、自らの知識や調べた情報を活用し自分の物にすることができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を相手にわかりやすく説明、発表することができる。
	傾聴力	チームで活動する際など、自分の意見を言うだけでなく相手の意見にも耳を傾けることができる。
	柔軟性	一度立てた計画でも必要に応じて柔軟に変更をすることができる。
	状況把握力	
	規律性	遅刻や無断欠席をすることなく、学修することに意欲を出し、授業が円滑に進むようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント配布
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

国際理解、アジアの文化と社会

学修上の助言 **受講生とのルール**

普段から世界や観光に関する情報を積極的に見つけるようにしてください。 世界は目まぐるしく変化しています。 情報収集に新聞、テレビ、インターネット、図書館などを活用することを推奨します。	楽しく活気のある授業にするためにも遅刻、無断欠席はやめよう。 恥ずかしがらずに、積極的に自らを出し、いろんなことにチャレンジしていこう。
--	---

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
		レポート		10	①		✓	・授業で学習した内容の理解度を自らの言葉で記述することができる。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		80	①		✓	・実際に観光地へ行くことが現実的には難しいため、架空で自らが旅行プランナーになり、設定、計画を考えた上で観光ガイドも行することができる。 ・ほかの人とは違ったオリジナリティを旅行計画に含め発表することができる。 授業を通してpisa型学力、社会人基礎力を発揮することができる。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	主体性：観光について情報を積極的に収集し、興味関心をもって、自己学修をすることができる。 実行力：自ら設定した目標に向けて、知識を得て、問題解決に向けて諦めることなく最後まで一生懸命に努力することができる。 課題発見力：日常生活において観光に関わる事を発見し疑問を持つことができる。 計画力：旅行の計画を作成する際に、時間内に作業を進めるために手順をしっかりと考え行動することができる。 創造力：固定概念にとらわれず、自らの知識や調べた情報を活用し自分の物にすることができる。 発信力：自分の意見を相手にわかりやすく説明、発表することができる。 傾聴力：チームで活動する際など、自分の意見を言うだけでなく相手の意見にも耳を傾けることができる。 柔軟性：一度立てた計画でも必要に応じて柔軟に変更をすることができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップレポート課題を行う。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S-自ら積極的に進んで計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。完成度の高くオリジナリティのある作品ができる。</p> <p>A-自ら進んで計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。オリジナリティのある作品ができる。</p>	<p>B-計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。オリジナリティのある作品ができる。</p> <p>C-計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。作業時間内に作品ができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1・2	オリエンテーション 授業の内容説明やスケジュール説明を行う 観光産業を学ぶ	講義と演習	ゼミの方針を理解する	(復習)自分がやりたいことをまとめてリストアップする。 (予習)PCや図書館を使用して岡崎市のかんこうについて調べ、興味を持った点をリストアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
3・4	岡崎市の観光について学ぶ ・実際に観光地に行き魅力、問題点を調査する。	課外調査 フィールドワーク	地域の文化や歴史について理解し、地元住民や観光客と積極的にコミュニケーションをとることができる。	(復習)訪れた岡崎市の観光スポットについてまとめる (予習)PCや図書館を使用して岡崎市の観光について調べ、興味を持った点をリストアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
5・6	岡崎市の観光について学ぶ ・実際に観光地に行き魅力、課題点を調査する。	課外調査 フィールドワーク	地域の文化や歴史について理解し、地元住民や観光客と積極的にコミュニケーションをとることができる。	(復習)訪れた岡崎市の観光スポットについてまとめる。 (予習)岡崎市の観光について発表するために準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
7・8	岡崎市の観光についての発表	プレゼンテーション 講義 魅力・課題点	自分の考えと他人の意見の違いを見つけ分析できる。	(復習)自分、クラスメートが発表して気になった岡崎市の観光スポットについてまとめる。 (予習)PCや図書館を使用して世界の観光産業について調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
9・10	世界の観光について学ぶ ・衣食住文化	・講義 ・グループワーク ・発表	世界の衣食住文化について理解することができる	(復習)世界の衣食住文化についてまとめる (予習)PCや図書館を使用して世界遺産についてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
11・12	世界の観光について学ぶ ・世界遺産	・講義 ・グループワーク ・発表	世界遺産の魅力・問題点などについて理解することができる。	(復習)世界の世界遺産についてまとめる (予習)まちづくりについてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
13・14	文化を活用した観光と地域の活性化/まちづくりについて学ぶ	・講義 ・グループワーク ・発表	観光地のまちづくりについて理解することができる。	(復習)観光地のまちづくりについてまとめる。 (予習)発表に向けての準備	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
15	前期の活動まとめを行う	オンデマンド 講義 復習	前期の総復習ができ、反省することができる	前期の総復習をしレポートを作成する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16	後期のゼミ活動について理解する	講義 後期のスケジュールを全員で確認 口頭質問	後期のゼミではどのようなことに挑戦したいかまとめることができる。	(復習) 後期のゼミで挑戦したいことをまとめる。 (予習) 学泉祭でどのようなお店を出したいか調べてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
17・18	学泉祭に向けて計画を立てる	講義 演習 学泉祭に向けて計画を立てる グループごとに計画、立案をする	グループに分かれて決められた作業、計画を立てることができる。	(復習) 学泉祭に向けて準備をする (予習) 報告書作成に向けて世界の観光地を調べる	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
19・20	最終ゼミ報告書(旅行計画書)の概要説明、作成に向けて準備をする	演習 計画案を作成	最終ゼミ報告書の書き方、資料収集の方法を理解できる	(予習)(復習) PCや図書館を使用して各自興味のある国や観光地について調査する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
21・22	最終ゼミ報告書(旅行計画書)の資料収集と相談	演習 各自が活動 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し、最終ゼミ報告書(旅行計画書)作成のための資料収集を行うことができる。	(復習) 各自、テーマを一つに絞る。 (予習) 最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
23・24	各自最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成	演習 各自が最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し資料を収集し最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成をすすめることができる。	(予習)(復習) 最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
25・26	各自最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成	演習 各自が最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し資料を収集し最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成をすすめることができる。	(予習)(復習) 最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
27	最終ゼミ報告書の第一次提出 経過の報告	プレゼンテーション 口頭質問 フィードバック	最終ゼミ報告書(旅行計画書)の一次提出をすることができる。	最終ゼミ報告書の作成と修正	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
28	ゼミの報告書(旅行計画書)の修正と最終提出をするとともに最終発表の準備をする	演習 各自活動をする フィードバック	最終ゼミ報告書の修正を行い最終提出ができる。	(予習) ゼミの発表の準備をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
29	ゼミ活動のまとめ	演習 ゼミ発表会で報告をする。	完成したゼミの報告書(旅行計画書)をもとに1年間学修したことを発表することができる	(復習)発表の反省をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
30	ゼミ活動のまとめ	オンデマンド演習 ゼミのまとめ	総復習をすることができる	1年かを振り返り完成したゼミの報告書(旅行計画書)をもとに1年間学修してきたことを総復習する		主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109H	総合ゼミナール(長谷川えり子) Seminar (Fashion Produce)	長谷川えり子		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「ファッションプロデュース」
 ファッションを通して、様々な視点から物事をとらえ、社会人として自立するための人間力を養っていく。ファッション業界（アパレル、ブライダル、ビューティーなど）の動向をとらえ、トレンドを分析する。また、ファッションビジネスプロジェクトとして、アクセサリショップの出店、全国販売に向けたアクセサリの商品化を行い、企画、制作、販売能力を育成する。ゼミ活動を通して、様々なファッションシーンを体得することでファッション感覚を磨き、楽しみながらファッションセンスを向上させる。（②③に相当する）また、プロジェクト活動の場面で建学の四大精神を実践し、社会人基礎力を発揮し、これまで獲得してきた知識を活用して、課題解決に結びつけ、自らの可能性を伸ばしていく。（④⑤に相当する）

学修内容	到達目標
① ファッション業界（アパレル、ブライダル、美容）について動向を捉え、トレンドを分析する。 ② プロジェクト①全国販売されるアクセサリの商品化を目指し、産学連携活動に取り組む。 ③ プロジェクト②学外、大学祭において、アクセサリショップを出店し、商品を企画、制作、販売する。 ④ プロジェクト③地域の方を対象にアクセサリ制作の講座を開催し、魅力を発信する。 ⑤ プロジェクト④ファッションショーにて、ゼミ活動の成果を発表する。	① ファッション業界の流通のながれやトレンド傾向を知ること で現状を捉え、自ら発信することができる。DP③ ② これまでに獲得したスキルを活かして、市場で売れるアクセ サリをデザインし企業側に提案することができる。DP④ ③ これまでに獲得したスキルを活かして、企画力、制作、販売 スキル発揮し、ショップを運営することができる。DP④ ④ 地域の方を対象とした講座を実施し、もの作りの楽しさ、ア クセサリの魅力を発信することができる。DP②⑤ ⑤ これまでに獲得したスキルを活かして、ファッションシー ンに適したスタイルをデザイン、製作し、トータルファッション提 案ができる。DP②④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	ファッショントレンド情報を積極的にキャッチし、ファッション業界の商品のながれや動向を捉える。
	働きかけ力	
	実行力	ファッションプロジェクトをチームで協力して進め、実行することができる。
考え抜く力	課題発見力	ファッションプロジェクトを進める中で、目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。
	計画力	ファッションプロジェクトを進める中で、達成目標に対してスケジュールを計画し、途中で点検しながら実行する。
	創造力	自分の好きなファッションだけでなく、様々なファッションスタイルを通して、新しい発想のもとアイデアを提案する。
チームで働く力	発信力	ファッショントレンドをとらえ、分析し、シーンに合わせた提案ができる。
	傾聴力	チーム活動では、周りの人の意見を十分に聞きながら行動する。
	柔軟性	チーム活動では、お互いに思いやり、意見の相違があった場合でも理解し合って進めていく。
	状況把握力	
	規律性	遅刻無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし 教員作成の資料により進める。
 参考文献：MODE et MODE

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッションコーディネート演習、ファッションアクセサリーズ、ショッププロデュース、アパレルCAD
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段からファッションに興味を持ち、様々なメディアを通して情報に触れよう。また、ファッション販売の現場にも出向き、トレンドを捉え、消費者の動向を観察しよう。	ゼミ活動を通して、ゼミ生相互の親睦をはかり、協調性を身につけ、お互いに成長できるように、目標に向かって努力しよう。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：ファッションプロジェクトに対して、積極的に取り組み、チーム全体で成果を上げ、社会人基礎力の能力を実践できた。ファッションに関わることで、ファッションセンスが磨かれ、様々シーンのファッション提案ができる。 S：上記に加え、チーム全体に働きかけ、自己の成長ぶりが作品に成果として表現できている。</p>	<p>B：ファッションプロジェクトを理解し、チームで協力して実施することができた。ファッションを通して、自己表現することができる。 C：上記の基準に対して、プロジェクト活動は取り組んでいたが前向きな努力が見られない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の進め方について、ゼミ活動についての取り組み方の説明、役割分担を行う。メンバーの自己紹介を行う。	講義、演習 ゼミの概要を説明し、今後の進め方について話し合う。	ゼミの目標を理解し、ゼミの概要を捉え、役割分担することができる。	(予習) シラバスを読み、前期の内容をとらえる。 (復習) ゼミ活動での個人目標を設定する。	60	発信力 傾聴力
2	ファッション業界の概要について就職を意識して、ファッション業界(アパレル、美容等)の現状を解説する。	演習 PPによる業界の説明後、PC活用により業界の概要、会社の実態などの情報を収集し、プリントにまとめる。	ファッション業界研究を行い、就職に活用することができる。	(予習) ファッション業界の会社を調べる。 (復習) 進路に合わせた業界の動向を調べる。	60	主体性 課題発見力
3	トレンド情報分析について今季のトレンドについて、カラー、素材、デザインの面から解説する。	演習 PPによる今季のトレンド解説後、PC活用によりデザイナーの作品情報を収集し、プリントにまとめる。課題は提出後、点検しフィードバックする。	今季のトレンドについてコレクション映像やインターネットより情報を収集することができる。	(予習) 今季のトレンドをネットで検索する。 (復習) 授業の内容をファッション雑誌で振り返りまとめる。	60	主体性 実行力
4	ファッションアクセサリ制作① 金具(ピン、カン)の種類を知り、工具による基本操作を習得し、金具を使ったアクセサリを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	金具を使用したアクセサリが制作できる。	(予習) アクセサリー制作用の金具の種類を調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え着装する	60	主体性 実行力
5	ファッションアクセサリ制作② ラインストーン、パテを使ったジュエルデコレを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	ジュエルデコレ仕様のアクセサリが制作できる。	(予習) ラインストーンのアksesサリーを調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え着装する。	60	主体性 実行力
6	ファッションアクセサリ制作③ レジンを使ったアクセサリを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	レジンを使ったアクセサリが制作できる。	(予習) レジン仕様のアクセサリを調べる。 (復習) 制作した作品のコーディネートを考え、着装する。	60	主体性 実行力
7	アクセサリ産学連携企画① 全国販売を目指したアクセサリを企画する。連携先の企業から業界の動向を学び、新しい提案を行うためにトレンドを活かしたデザインワークを行う。	演習、グループワーク 企画する作品のデザインをPCを活用して考え、グループ内で発表し意見交換する。	アクセサリメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリを企画することができる。	(予習) アクセサリーの売れ筋商品を調べる。 (復習) 企画したアクセサリーの作り方を考える。	60	創造力 発信力
8	アクセサリ産学連携企画② 全国販売を目指したアクセサリを制作する。	演習 企画する作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	アクセサリメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリを制作することができる。	(予習) アクセサリーの制作方法を調べる。 (復習) 企画したアクセサリーを完成させる。	60	実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	アクセサリー産学連携企画③ 全国販売を目指したアクセサリーの中間発表会を行う。提案作品に対して企業側からアドバイスを受ける。	発表 企画する作品を連携先企業に対して、中間発表する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	(予習) 発表練習をする。 (復習) 指摘された課題に対して、修正案を検討する。	60	実行力 課題発見力 発信力
10	ファッションビジネスプロジェクト①(アクセサリーショップ) ネックレスアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、討議(ディスカッション) 教員説明後、チーム活動で販売する商品を検討する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ネックレス)制作ができる。	(予習) ネックレスの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
11	ファッションビジネスプロジェクト②(アクセサリーショップ) イヤリングアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(イヤリング)制作ができる。	(予習) イヤリングの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
12	ファッションビジネスプロジェクト③(アクセサリーショップ) ピアスアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ピアス)制作ができる。	(予習) ピアスの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
13	ファッションビジネスプロジェクト④(アクセサリーショップ) ブレスレットアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ブレスレット)制作ができる。	(予習) ブレスレットの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
14	ファッションビジネスプロジェクト⑤(アクセサリーショップ) ヘアアイテムのデザインをPCを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。商品は教員が点検し、フィードバックする。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ヘア用)制作ができる。	(予習) ヘアアクセサリーの制作の内容を考える。 (復習) アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
15	アクセサリー産学連携企画④ 全国販売を目指したアクセサリーの発表会を行う。制作スキルを活用した新しい商品提案をわかりやすく伝え、発信する。	オンラインにて作品発表(オンデマンド) 企画内容の画像をGoogleclassroomにアップし、クラス全体で内容を共有し、講評する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	(予習) 提案するアクセサリー画像を撮影し、アップする。 (復習) 発表について、講評と感想をまとめる	60	課題発見力 発信力 規律性
16・17	研修旅行企画、学外見学 学外活動を通して、ファッション現場をとらえる。	演習(学外見学) 研修旅行を実施 研修先-アパレルメーカー、化粧品メーカー、コスチュームサロン、コレクション見学	ファッション関係の研修を通して業界の現状を理解できる。	(予習) 見学先での質問を考える。 (復習) 見学先の概要と感想をプリントにまとめる。	60	実行力 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
18	大学祭出店準備① 商品企画を行う。ブランドコンセプトにそった商品をデザインし、制作する。	実習、討議（ディスカッション） 教員説明後、討議し、役割分担し、商品の制作などの出店準備を行う。PCを活用して情報収集して提案を行う。	店舗ディスプレイの実際を考え、各アイテムを制作できる。	（予習）Shopを訪問し、ディスプレイ、POPを観察する。 （復習）POPの修正と制作を行う。	60	主体性 創造力
19～ 21	大学祭出店準備② 商品制作を行う。ブランドコンセプトに合わせ、習得したスキルを活かして、商品制作を行う。制作にあたり、能率的に制作でき、見映えのする商品作りを考えて実施する。	実習、グループワーク 教員説明後、チーム活動で、販売する商品を制作する。メンバーで役割分担し、チームで協力して進める。完成した商品は教員が点検し、フィードバックする。	商品として販売できるアクセサリーアイテムを制作できる。	（予習）商品の品揃えをまとめる。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	実行力 課題発見力
22	大学祭出店準備③ 商品管理として、価格設定と値札つけを行う。価格設定は、原価計算し、適正価格を考えて設定する。	実習、グループワーク 教員説明後、チーム活動で、販売する商品の価格設定、値札つけを行う。市場で販売、流通している商品価格をPCを活用して情報収集して参考にする。	販売商品を制作できる 販売商品を制作し、価格設定できる。	（予習）一般小売店舗商品の価格を調べる。 （復習）販売後のアクセサリーの商品管理を行う。	60	主体性 実行力
23	ファッションショー企画 今季のトレンドを活かし、テーマ、制作作品を考える。 ・トレンド分析 ・デザインワーク	演習、討議（ディスカッション） 教員説明後、全体でテーマ、担当を話し合える。PCを活用して情報収集してデザインワークを行う。	ファッションショー実施に向けて、企画案を練り、検討できる。	（予習）コレクションを鑑賞する。 （復習）制作するデザインを考え、制作手順を計画する。	60	主体性 発信力 傾聴力
24～ 27	ファッションショーアイテム制作 各自作品制作を行う。 ・材料選定 ・裁断、印付け ・縫製 ・仕上げ ・装飾	実習、制作 発表する衣裳を制作実習する。制作途中で教員が点検（フィードバック）しながら、完成させる。	ファッションショー作品を制作できる。（衣裳、アクセサリー）	（予習）本日の作業の確認を行い、制作内容を計画する。 （復習）衣裳制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
28	ファッションショー準備 ショーの音楽、舞台演出を検討する。作品が映えるための雰囲気作りを考え、演出効果のシミュレーションを行う。	実習、グループワーク ゼミ全体で活動し、ショー演出を行う。	ファッションショーの演出を考え、発表の準備ができる。	（予習）ショーで使用する音楽を探す （復習）コレクションを鑑賞し、フォーメンションを考え練習する。	60	実行力 創造力 発信力
29	ファッションショー作品発表会 学外プロジェクト成果発表会	実習 ファッションショー出演、および学外活動の成果発表を行う。	卒業作品発表会（ファッションショー）でオリジナル作品を発表することができる。	（予習）本番のスタイリングを考える。 （復習）なし	60	実行力 発信力
30	ファッションショー振り返り 成果発表したファッションショーを振り返り、自己の成長を確認する。	演習（オンラインにてファッションショー動画視聴） ファッションショーの動画を視聴して、作品の完成度を確認する。製作過程を振り返り、良い点を評価する。	ファッションショーの作品を視聴し、良い点を評価することができる。	（予習）なし （復習）これまでのゼミ活動を振り返り、成長できた点をまとめる。		課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109J	総合ゼミナール(秦真人) Synthetic Seminar	秦真人		基礎	2	必修	2通年

科目の概要

「レクリエーションとスポーツ文化」についてというテーマで、3つの課題を一年間かけて追究する。現在、日本のスポーツ文化は競技スポーツと健康スポーツ、観るスペクテイター・スポーツ、スポーツボランティアなど支えるスポーツといった4つのとらえ方ができる。レクリエーションの中にもスポーツ的要素をもつ活動があり、それらは健康スポーツと重なるところが多い。このゼミでは、総合的なスポーツ文化の理解から、身近なレクリエーションの話題を取り上げて体験的に学修する。そして、この授業はディプロマポリシーの①から⑤全てに相当し、これらを身につけるために展開していく。

学修内容	到達目標
① 日常的に生活を豊かにするスポーツ・レクリエーション(以下、スポ・レク)が習慣化されるようにする。 ② スポ・レクを通して、集団における社会性を身につける。 ③ スポ・レクの基本的な技能を身につけ、基礎指導ができるようにする。 ④ スポ・レク種目の調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深める。 ⑤ スポ・レク活動を支える担い手となるための学びを実践する。	① 日常生活の中でスポ・レクが習慣的に実践できる。それによってディプロマポリシーの②③④⑤を身につけることができる。 ② スポーツ・レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる。それによってディプロマポリシーの②を身につけることができる。 ③ 基本的な技能を身につけ、基礎的スポ・レク指導ができる。それによってディプロマポリシーの③を身につけることができる。 ④ 調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深めることができる。それによってディプロマポリシーの⑤を身につけることができる。 ⑤ スポ・レク活動を支える担い手の一人となることができる。それによってディプロマポリシーの①③④⑤を身につけることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	スキル練習や試合、その他行事において自分の役割を積極的に果たすことができる。
	働きかけ力	チームとして良好な活動ができるように、声かけをしたり提案をすることができる。
	実行力	個人スキルの向上や目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成することができる。
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処することができる。
	計画力	チーム力の向上のために、段階的な練習計画を立てることができる。
	創造力	スポ・レク活動の中で、新たな価値観を創り出すことができる。
チームで働く力	発信力	スポ・レク活動の中で、自分の考えを提案することができる。
	傾聴力	スポ・レク活動の中で、他人の考えをしっかりと把握することができる。
	柔軟性	スポ・レク活動の中で、意見の相違があっても、柔軟に対処することができる。
	状況把握力	スポ・レク活動の中で、どういう場面であるかを常に把握して対処することができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	スポ・レク活動の中で、ストレスを感じても、動揺せずに冷静に対処することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト・参考文献：必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。テーマに沿って、そのつど参考文献等を提示する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「レクリエーション実習」、「アウトドア演習」、「健康管理論」、「パーソナルスポーツ演習」、「チームスポーツ演習」、「生涯スポーツ」など
 資格との関連：(レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター)

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

様々な写真や映像資料などを利用して、視覚による理解を深めるとともに、実体験をすることによってさらにレクリエーションとスポーツ文化についての理解を深める。前期はレクリエーション的スポーツの実践体験を中心に、後期は興味関心のあるスポーツやレクリエーションに関する資料・文献調査を中心に学修する。	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて更衣をし、室内シューズとタオルを準備する。 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々な知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、著しく個人スキルとチームスキルの向上が図れる場合A（優）。</p> <p>さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいると思われたらS（秀）となる。</p>	<p>授業で学んだ様々な知識を理解し、それを活かした練習計画が実践できると共に個人スキルの向上が図れた場合B（良）。</p> <p>授業に参加し、個人スキルの向上が図れなくても、主体的に行動することができればC（可）である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	一年間のゼミ活動全体の内容を理解する。	講義 教員からの説明と全員で計画案を確認する。	このゼミではどういう活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習) スポーツ、レクリエーションとは何かの意味を予習する。 (復習) 科目内容を振り返り、自分の担当種目の計画を練る。	90	課題発見力 傾聴力
2	スポーツ文化とレクリエーションの意味を理解する。	講義 (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる。	(予習) スポーツ文化について予習する。 (復習) スポーツとは何か復習する。	90	傾聴力
3	スポーツ・レクリエーション運営実践に向けて計画する。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習) 何の店か予習として企画する。 (復習) 模擬店の企画運営計画について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
4	スポーツ・レクリエーションの運営を実践①をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
5	スポーツ・レクリエーションの運営を実践②をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
6	スポーツ・レクリエーションの運営を実践③をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
7	スポーツ・レクリエーションの運営を実践④をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力
8	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑤をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑥をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
10	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑦をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
11	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑧をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
12	スポーツ・レクリエーションの運営を実践⑨をする。 グループ内での戦術・戦略を練ることで、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画による授業運営をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営・受講し、その実践の様子を各自記録して振り返ることができる。	(予習) 次の担当者は担当種目について、どのように運営するかまとめてくる。 (復習) 担当種目の記録から振り返り反省点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
13	スペクテイター・スポーツに対する理解をする。	演習 教員による説明の後、実際に学外で演習する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	学外競技スポーツを観戦し、レクリエーションとしての見るスポーツに対する理解を深めることができる。	(予習) スペクテイタースポーツとは何かについて調べる。 (復習) 希望種目についての調査と記録を振り返りまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
14	アウトドア体験活動を理解し企画運営をする。 グループ内で、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 教員による説明の後、実際に学内外で演習する。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	B B Qや野外企画を運営し、レクリエーションとしてのアウトドア活動について実践的に学ぶことができる。	(予習) 野外調理についての仕方を事前学習する。 (復習) B B Qや野外企画を記録しまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
15	前期の活動のまとめをする。	オンデマンド 教員からの説明と全員での反省会をする。(復習内容の質問に対してフィードバック)	前期のゼミ活動を振り返り、総括して反省することができる。	(予習・復習) 前半期の記録から、振り返りをし、活動内容のまとめのレポートを作成する。	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力
16	後期ゼミ活動について理解する。	講義 教員からの説明と全員で後期の計画案を確認する。	後半のゼミでは、どういう活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習) 後期活動の内容をシラバスから把握する。 (復習) 計画を練り直しまとめる。	90	課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	レクリエーションとしての「祭」を理解する。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる。	(予習) スポーツ文化の中の祭を考えてみる。 (復習) 祭をレクリエーションとしてはとらえてまとめる。	90	傾聴力
18	「学泉祭」運営実践に向けて計画を立てる。	講義・演習 教員からの説明と全員で計画案を作る。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習) どんな店が出店可能か調べておく。 (復習) 模擬店の企画運営計画についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
19	「学泉祭」運営実践の反省をする。	演習 教員からの説明と全員で反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	学泉祭の模擬店の運営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習) 各自反省点をまとめてくる。 (復習) 各自の反省を踏まえ模擬店の企画運営の記録を作りまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
20	レクリエーションとしての「旅」を理解し計画を立てる。	演習 各グループ企画により計画・立案をしてみる。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	「旅」のレクリエーションとしての意味を広く理解し、ゼミ旅行に向けての意識を確認し計画することができる。	(予習) どこが実際に行くことが可能か調べてくる。 (復習) 各自の提案をまとめて方向性を絞る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
21	「ゼミ旅行」の運営・実践の反省をする。	演習 教員からの説明と全員で反省会をする。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	ゼミ旅行の営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習) 各自反省点をまとめてくる。 (復習) ゼミ旅行の企画運営の記録を作りまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
22	まちづくりプロジェクトを実施する。①グループ内で、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画により計画・立案をしてみる。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習) プロジェクトで何をするかについて調べてくる。 (復習) 実施内容を振り返り反省してまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
23	まちづくりプロジェクトを実施する。②グループ内で、獲得した知識や技術により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各グループ企画により計画・立案をしてみる。(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習) プロジェクトで何をするかについて調べてくる。 (復習) 実施内容を振り返り反省してまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
24	最終レポート作成に向けての手順を理解する。	演習 教員からの説明と計画案を作成(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの書き方、資料の収集・整理の仕方などについての説明とテーマ設定について理解ができる。	(予習) 各希望種目の調査をする。 (復習) 各自の予備調査を確認してまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	資料収集と相談を行う。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	図書館や情報処理室を利用し、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習) 各希望種目の調査により1つのテーマに絞む。 (復習) 調査内容を確認してまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
26	各自レポート作成と発表に向けての資料を作成する。① 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
27	各自レポート作成と発表に向けての資料を作成する。② 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力
28	レポート課題の第一次提出と発表内容の確認をする。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの第一次提出をすることができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
29	レポート課題の修正と最終提出をするとともに発表の最終確認をする。 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	演習 各自が活動(復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	最終レポートの訂正・修正を行い、最終提出ができる。	(予習・復習) レポートの作成と見直しをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
30	ゼミ活動のまとめをする。 獲得した知識により課題を解決するというpisa型学力も意識する。	オンデマンド (復習内容の質問に対してクラスルームにてフィードバック)	完成したゼミナール報告をもとに、発表し総まとめをすることができる。	(予習) 報告資料・原稿の準備をする。 (復習) 発表の反省と振り返りをしてまとめる。	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109K	総合ゼミナール(古橋敬一) Synthetic Seminar	古橋敬一	✓	基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ: 「その声を聞いてみる」

このゼミは、このエリアで暮らし働いている、あるいは皆さんの関心があるテーマに近い仕事をしている人々に対する聞き書きを軸にした活動を展開していきます。聞き書きは、フィールドワークにおける調査手法の一つですが、それ自体に底知れない魅力があります。このゼミでは、その魅力を追究しながら、人の生き方や働き方について、またそれらが統合して生まれる地域社会や文化とは何かを考えていきます。正解は一つではなく、それに主体的に取り組む皆さんの数だけ生まれていくでしょう。また、このゼミでは、創立者が教育信条としてうたった潜在能力の無限性を信じ、その潜在能力を可能性の限界まで引き出すことを目指し、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践し、多くの人たちとの交流を通して、社会人基礎力の習得に挑戦します。地域社会の中にある、さまざまな魅力や課題を発見し、それらの活用や課題を克服していく姿勢が、これからの社会人には求められています。皆さんの中にある潜在的な可能性が大きく開花することを楽しみにしています。聞き書きの対価は、さまざまな人々を想っています。1つみなさんと共通してやってみたいと考えていることは、ゼミナールの皆さんが、聞いてみたい、あるいは興味のある職種の人たちへの仕事インタビューです。これは、皆さんのためにもなるし、その成果はみなさんに続く後輩の方々に始め、いろいろな人々にとっての道しるべになるでしょう。人を通して社会を知り、そうした社会を考察して自分自身を知る。そんな活動を皆さんとじっくりと歩んでみたいと考えています。このゼミの取り組みは、ディプロマポリシー（以下、DP）の①～⑥に相当します。これらを身に付けるためにいきます。

学修内容	到達目標
① 聞き書きによる作品を考察する。 ② フィールドワークにおけるインタビューの作法と手法を学ぶ。 ③ インタビュー原稿の書き方を学ぶ。 ④ フィールドワークにおける聞き書きの活かし方を探究する。 ⑤ ゼミナール活動をまとめて発表し、発信する。	① 聞き書きによって制作されたいくつかの作品の意義や価値を理解し、自分なりに説明できる。(DP①④) ② フィールドワークにおいて臆さずインタビューを実施することができる。(DP③) ③ アウトプットのケースに応じ、インタビュー原稿を適切に書き起こすことができる。(DP④) ④ フィールドワークにおける聞き書きの有意義な可能性を示すことができる。(DP②④) ⑤ 資料を作成し、ゼミナール活動を他者にわかりやすく伝えることができる。(DP⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、参考文献を調査し、自己研鑽ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。
	働きかけ力	障壁を乗り越えるために、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。
	実行力	目標を設定して、知識を獲得・活用し、課題解決に向けて最後まで行動し、努力を尽くすことができる。
考え抜く力	課題発見力	問題と課題を混同せず考えることができる。小さくはじめ、トライ＆エラーを重ねながら、考察の精度をあげる取り組みができる。
	計画力	目標を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。
	創造力	既成概念や固定観念にとらわれず自由に発想し、他者からの意見も柔軟に取り入れることができる。
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をまとめ、TPOに合わせて適切なメディアを選んで発表することができる。
	傾聴力	積極的受動性の意味を理解し、人の話を真摯に耳を傾けることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解しようとする寛容性を磨き、物腰柔らかに対応することができる。
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置や次の展開を考えて行動できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、ゼミ活動が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォロー課題を行う。
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。
 参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解できるようにして下さい。	講義と文献学習、聞き書きの実践、作品制作、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。主体的な参画をお願いします。書くこと、語ること、読むこと、書くことが比較的多いと思いますが、習熟して行きますので、繰り返し行います。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	50	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> インタビューした内容が豊かに描かれている。 書くことによって思考したことが読み取れる文章になっている。 人の所作を描きながら、地域の文化的な風景が読み取れる文章になっている。 まちづくりへのヒントが描かれている。 他者に伝わる文章が書けている。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> pisa型学力 授業で学んだことことをいかして、インタビューができる。また、その成果をまとめたレポートが書ける。レポートを軸に、プレゼンができ、講評をもとに新しいアイデアを発見することができる。 冊子制作 一人ひとりの成果をまとめた魅力的な冊子をつくることことができる。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		<p>（主体性）自ら、必要な知識についてさらに理解を深めるための調査研究ができる。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。</p> <p>（働きかけ力）迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けられることができる。</p> <p>（実行力）目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。</p> <p>（課題発見力）資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、連動させて考えることができる。</p> <p>（計画力）目標（ゼミ活動、検定合格）を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。</p> <p>（創造力）課題を考えたとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。</p> <p>（発信力）グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。</p> <p>（傾聴力）グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。</p> <p>（柔軟性）自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。</p> <p>（状況把握力）メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて、行動できる。</p> <p>（規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたさず行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</p> <p>欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</p> <p>（ストレスコントロール力）メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。</p>	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：①+②+③</p> <p>A(優)：①+②</p> <p>①積極的に聞き書きに挑み、オリジナリティのある作品が完成できている。</p> <p>②作品のコンセプトやテーマなどが秀逸である。</p> <p>③作品の完成度が極めて高く表現にも工夫が見られる。</p>	<p>B(良)：①+②+③</p> <p>C(可)：①+②</p> <p>①作品を提出できている。</p> <p>②作品が及第点の完成度で達成している。</p> <p>③作品の制作過程において周囲を積極的にサポートできていた。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーションに参加し1年間の学修の流れを把握する。 ・自己紹介を通してゼミ生とお互いを知り合うきっかけをつかむ。 ・ゼミの運営方針と進め方について理解する。	講義と演習 ・自己紹介のセッションを通してお互いを知る。 ・ゼミの運営方針と進め方についてレクする。 ・教師と学生が互いに期待していることを共有し、ビジョンを描く。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	ゼミの方針を理解する役割分担に積極的に協力する。	(復習) 自分のやりたいことをまとめてレポートにする (予習) 配布資料をよく読み込んでミニレポートを書く。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2・3	・聞き書きの作品解説と議論① 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4・5	・聞き書きの作品解説と議論② 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6・7	・聞き書きの作品解説と議論③ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8・9	・聞き書きの作品解説と議論④ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	・聞き書きの作品解説と議論⑤ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	(復習) 作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 (予習) 自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	・聞き書きの実践① 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用し、インタビューをとりまとめる	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	(予習) これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる (復習) 文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14・15	・聞き書きの実践①の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。 ・なお、15週目はオンデマンドで授業を実施する。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンでスライド資料を発表する ・15週目は、パソコンで授業を受ける。	自分の体験を他者へ伝えるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	(予習) 発表の準備をすすめる (復習) いただいた講評をもとに成果を校正する	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16・17	・聞き書きの実践② 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用して原稿をまとめる。	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	(予習) これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる (復習) 文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
18・19	・聞き書きの実践②の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンを使用し、スライド資料を発表する。	自分の体験を他者へ伝えるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	(予習) 発表の準備をすすめる (復習) いただいた講評をもとに成果を校正する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
18・19	・聞き書きの実践③ 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用して原稿をまとめる。	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	(予習) これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる (復習) 文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
20・21	・聞き書きの実践③の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンを使用してスライド資料を発表する。	自分の体験を他者へ伝えるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	(予習) 発表の準備をすすめる (復習) いただいた講評をもとに成果を校正する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
22～24	ゼミ発表に向けて、チームで、役割分担を決め、進める	各位のプレゼンテーションと講評を振り返り、原稿を推敲し、冊子化の準備を進める。 ・パソコンを使用してプレゼンの準備をすすめる。	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(予習) 冊子制作に向けてのアイデアを整理する。 (復習) 各自の役割分を振り返り、業務を進める。	270	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
25・26	冊子制作 これまでの聞き書きを整理し、作品として冊子に綴じる。	製本の仕方をレクし、各位で製本を実施する。 ・パソコンを使用して台本割をデザインする。	チームで分担し、冊子が制作できる。	(予習) 魅力的な冊子のフォーマットを考えてくる。 (復習) チームで分担された資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
27・28	作品をご本人に届け、感想をいただく。	インタビューを実施した方々に作品を届け、読んでもらい、感想をいただいでくる。いただいた感想は記録し、発表できるものに編集する。 ・パソコンを使用してプレゼン資料を準備する。	インタビューの成果をご本人に戻し、フィードバックがもらえる。	(予習) 制作した作品をご本人にどうやってお渡しするか、段取りをする。 (復習) いただいたフィードバックを編集しまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
29	ゼミ活動の準備と発表 ゼミ活動の成果を発表会にてプレゼンする	ゼミ発表会に向けてのプレゼンを作成し発表する。 ・パソコンを使用してプレゼン資料を準備する。	具体的な発表行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習) 一年間のゼミ活動を発表するための資料を収集作成する (復習) 一年間のゼミ活動を振り返る	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
30	・オンデマンド型式で実施し、ゼミ活動のプレゼンを講評し、意見交換を行う。	・お互いのプレゼンに対する講評をする。 ・パソコンを使って授業に参加する。	お互いのプレゼンに対して、適切な批評と評価がコメントできる。	お互いのプレゼンを振り返って予習しておく。		

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109D	総合ゼミナール(村上拓也) Seminar (Digital Contents Design)	村上拓也	✓	基礎	2	必修	2通年

科目の概要

前期は、様々なデザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）に関する知識・技術・デザイン手法を学ぶ。これらはディプロマポリシー②③に相当する。
 後期は、各自または各グループで設定したテーマに基づいて作品制作及び研究をするが、官学連携活動または産学連携活動に参加するかを選択する。最後に発表し、フィードバックを得ることでデザインの見識を深め、表現する能力を獲得し、建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付けていく。これらはディプロマポリシー①②③④⑤に相当する。
 *以下の官学連携活動は有志による選択制で進める。
 ・岡崎市立府立部学芸院 連携講座（1000円授業料の提示）
 *以下の産学連携活動は有志による選択制で進める。
 ・遊び創造labo 連携企画（企画内容の考案から始める）
 (2件の連携活動は7月上旬に開始し、夏季休暇も活動を行い、2024年度内に終了予定。)

学修内容	到達目標
① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を知る。 ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解する。 ③ 選択したプロジェクトにおいて、発案からアウトプットまで一通りのプロセスを経験する。	① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を理解することができる。*ディプロマポリシー②に相当する ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解し、説明することができる。*ディプロマポリシー②に相当する ③ 選択したプロジェクトにおいて、発案からアウトプットまで一通りのプロセスを実施することができる。*ディプロマポリシー①②③④⑤に相当する

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題を解くだけでなく、自ら課題を発見し解決に向けた道筋を立てて行動できる。
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。
	創造力	前例や事例をよく調べた上で、新しい視点で既存の枠組みを捉え直すことができる。
チームで働く力	発信力	相手に正しく伝わっているかどうかを確認しながら、適切な方法で発信できる。
	傾聴力	話している言葉の内容だけでなく、意志伝達の際の全体像を汲み取って聴くことができる。
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。
	状況把握力	全体のなかで常に現在地を把握することに努め、状況を俯瞰し適切な対応ができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	生活のなかで適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。

テキスト及び参考文献

使用テキスト及び参考文献は都度、classroomや授業内で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「Webデザイン」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」、「デジタル映像演習」、「Webデザイン基礎演習」、「Webデザイン応用演習」、「デジタルマーケティング」、「デジタルコンテンツ」、「デジタル映像演習」

資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
各自進めていく作品制作では、困ったことがあったら一人で抱え込まず、担当教員含め周りの人に相談してください。不明な点は都度確認してください。	Classroomなどのオンラインツールを使って連絡を行います。作品制作が遅れていたたり、解決できない問題などで進まないとき、判断に困ることがあるときなど相談してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			90	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：前期のリブランディング作品について、テーマのコンセプトが的確であり、オリジナリティに富み、かつ極めて完成度が高く表現にも工夫が見られる。後期の各プロジェクトについて、積極的な姿勢が十分にあり、成果物も突出して優れている。</p> <p>A(優)：前期のリブランディング作品について、完成度が高く表現にも工夫が見られる。後期の各プロジェクトについて、積極的であり、成果物も優れている。</p>	<p>B(良)：前期のリブランディング作品について、完成度が一定の水準に達してはいるが、改善項目が多数存在する。後期の各プロジェクトについて、取り組み姿勢が平均的であり、成果物は可もなく不可もなく、あくまで及第点である。</p> <p>C(可)：前期のリブランディング作品について、未完成または完成度が著しく低い。後期の各プロジェクトについて、取り組み姿勢が消極的であり、成果物は出ているが、改善事項が多数見られる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<p><前期> 各自、自己紹介をして親睦を深める。 1年を通して学びたいことを整理する。</p> <p>(全週において、情報教室のPCを使用する)</p>	演習と講義 教員の紹介に始まり、1人ずつ自己紹介をすすめる。	デザイン思考やアフォードランスなどの概念を説明することができる。	(予習)各自、ロゴをリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	企業のリブランディングをテーマに進める。 デザインの基礎知識を習得する。 (デザイン思考やアフォードランスの概念、ツールを活用したインプリント方法など)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	デザイン制作フローやデザインのプロの現場での注意点などを説明することができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	企業のリブランディングをテーマに進める。 デザインの基礎知識を習得する。 (著作権・素材集サイトの使い方)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	著作権・素材集サイトの使い方を説明することができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	企業のリブランディングをテーマに進める。 Photoshopの基礎を習得する。 (基本操作・選択範囲・切り抜き)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Photoshopでカラージェムを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	企業のリブランディングをテーマに進める。 Photoshopの基礎を習得する。 (補正・合成・マスクなど)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Photoshopで画像補正をすることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 (WEBデザイン事例紹介と制作フロー)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 (コンテンツの考え方・ラフスケッチ)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 (サイトツリー・デザインカンプ)	演習と講義 Photoshop(またはIllustrator)を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	企業のリブランディングをテーマに進める。Illustratorの基礎を習得する。 (基本操作・レイアウト)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでレイアウトが出来る。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	企業のリブランディングをテーマに進める。Illustratorの基礎を習得する。 (パス操作・ベジェ曲線・トレース)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでロゴのトレースが出来る。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	企業のリブランディングをテーマに進める。ロゴデザインを作る能力を獲得する。 (ロゴ事例紹介とロゴ制作フロー)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ロゴデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	企業のリブランディングをテーマに進める。ロゴデザインを作る能力を獲得する。 (ロゴのテクニック)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ロゴデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	企業のリブランディングをテーマに進める。ポスター・チラシデザインを作る能力を獲得する。 (ポスター・チラシ事例紹介と考え方)	演習と講義 Photoshop (またはIllustrator) を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ポスター・チラシデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	企業のリブランディングをプレゼンする。	演習と講義 企業のリブランディングをプレゼンし、フィードバックを聞く。	企業のリブランディングをプレゼンし、フィードバックを聞いて改善することができる。	(予習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	【オンデマンドによる実施】 ・講評のビデオ配信を視聴して考察する。 ・前期のまとめを行う。	オンデマンド 講評のビデオ配信を視聴して自身の作品を改良する。 前期のまとめを行う。	前期のまとめを行うことができる。	(予習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。 (復習)前期のまとめを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
16	<後期> 各自・各グループでの研究の場合、テーマ決めとコンテンツのコンセプト作りを行い、半年かけて何を研究していくか、準備をする。 産学連携活動に参加するメンバーは、進め方を各班で協議する。 (順次個別面談と相談を予定)	演習と講義 各自の方向性を決め、classroomに研究テーマを発表する。	各自の方向性を決め、classroomに研究テーマを発表できる。	(予習)夏休み中に後期に行いたい研究テーマを決めておく。 (復習)決めた研究テーマに対して準備しておく。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17～ 27	各テーマに沿って研究を進める。	演習と講義 各テーマに沿って研究を進め、都度教員が進捗をチェックする。 見直す必要があれば見直しを行い、期限に間に合うよう自己管理して進める。	各テーマに沿って研究を進めることができる。	(予習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。 (復習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。	900	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
28・ 29	1月のゼミナール報告会に向けて準備する。 パワーポイント制作・発表者それぞれの役割で進める。	演習と講義 1月のゼミナール報告会に向けて、パワーポイント制作・発表者を割り振る。 それぞれの役割で進め、プレゼンの練習も授業内で行う。	1月のゼミナール報告会に向けて準備することができる。	(予習)1月のゼミナール報告会に向けて準備をしておく。 (復習)1月のゼミナール報告会に向けて準備をしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
30	【オンデマンドによる実施】 ・講評のビデオ配信を視聴して考察する。 ・1年間の振り返りと相互評価・まとめを行う。	オンデマンド 1年間の振り返りと相互評価・まとめを行い、フィードバックを得る。	1年間の振り返りと相互評価・まとめを行うことができる。	(予習)1年間の振り返りをしておく。 (復習)1年間の振り返りをしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109F	総合ゼミナール(山田麻由) Seminar (Computer Skills and Communication Skill)	山田 麻由	✓	基礎	2	必修	2通年

科目の概要

昨今はスマホやタブレット端末の普及と進化によって、動画撮影・編集がとて身近なものとなった。プロフェッショナルな機材やアプリケーションを持たなくても、人を惹きつける作品を制作する動画クリエイターの活躍がめざましい。そのような作品たちにSNSなどで日常的に接している私たちは、鑑賞者としての審美眼がより高まっていると言える。実写・アニメーション問わず、映像はあらゆる分野・業種において活用されており、今後も更なる発展が見込まれている。

映像の基礎知識から始まり、映像制作のワークフローやAdobe Premiere Proをはじめとする編集アプリケーションの基本操作を学ぶ(ディプロマ・ポリシー①・②に相当)。その知識を活かし、本学の広報動画や他ゼミとのコラボレーション動画などを制作する(ディプロマ・ポリシー③・④に相当)。

また、SNS運用を通じてニーズや問題点を洗い出し、動画制作を通じて課題を解決するためにできることは何かを教職員と学生が共に考え実践する(ディプロマ・ポリシー⑤に相当)。

学修内容	到達目標
① 映像制作の一連の流れで必要とされるスキルを習得する。 ② Adobe Premiere Proをはじめとするその他制作ツールの基本操作を習得する。 ③ プロモーション動画を企画し、絵コンテ・台本を作成する。 ④ 既存作品を鑑賞し、自分なりに分析・考察をする。 ⑤ 各種SNSにアップされる動画コンテンツの傾向とユーザー層を把握する。	① 映像制作の一連の流れで必要とされるスキルを習得し、活用することができる。(ディプロマ・ポリシー②に相当) ② Adobe Premiere Proをはじめとするその他制作ツールを使いこなすことができる。(ディプロマ・ポリシー②に相当) ③ プロモーション動画を企画し、絵コンテ・台本を作成することができる。(ディプロマ・ポリシー③に相当) ④ 既存作品を鑑賞し、自分なりに分析・考察し、自分たちの作品に反映することができる。(ディプロマ・ポリシー③に相当) ⑤ 各種SNSにアップされる動画コンテンツの傾向とユーザー層を把握し、企画に反映することができる。(ディプロマ・ポリシー④に相当)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	日常で出会う様々な動画に対して積極的に興味を持ち、それらをリファレンスとして収集し、自分たちの作品に応用しようと努力する。
	働きかけ力	
	実行力	当事者意識を持ってグループワークに参加し、困難があってもチームで設定した目標に向かって進むことができる。
考え抜く力	課題発見力	制作する過程で直面する課題や必要性を見極め、それらに対応する解決策を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	独自のコンセプトやアイデアを形成し、作品に具体的に展開することができる。
チームで働く力	発信力	チームメンバー全員の意思を確認しながら、不明な点があればすぐに共有し解決することができる。
	傾聴力	教員やメンバーの説明や発言を注意深く聞き、必要があれば質問できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：内容に応じてPDF資料をGoogle Classroomにアップロード

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「デジタル映像演習」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」
 資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
前半では映像制作に必要なスキルを習得し、後半からグループワークに入ります。チームプロジェクトには困難な局面もあるかもしれませんが、積極的なコミュニケーションを心がけることで乗り越えられるはずです。意見の違いや疑問点が出た場合も、適切な伝え方を考えることで、チームの合意形成を進めていきましょう。	円滑にプロジェクトを進めるために、授業開始5分前には着席し、Google Classroom、個人サーバー (B13) へのログイン、アプリケーションの起動などを済ませておいてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓		<前期> (30点) ・『ショート動画制作』、『ゼミ紹介動画制作』どちらかのテーマを選んでチームに分かれて制作する。 ・積極的に制作に関わる姿勢や試行錯誤する過程も評価のポイントとする。 ・前半で学んだスキルを活用し、魅力的な映像作品をつくることできているか。
			②	✓		<後期> (60点) 以下の3つの企画の中から1つ選択して動画制作。 ①なまろっ！制作 ②ショート動画制作 ③長谷川ゼミ・杉浦ゼミ卒業制作ファッションショーメイキング動画・スライド制作
			③	✓		(評価のポイント) ・課題課題の制作を通して身に付けた撮影・編集、グループワークのスキルを用いて、他者と共同して映像制作を進め、作品として結実させるpisa型学力を高める。 ・アプリケーションの使い方やチュートリアルを自主的に調べスキルアップに取り組んでいるか。 ・既存作品を鑑賞し自身の作品制作に取り入れる姿勢を見せているか。 ・グループワーク時、協力的な姿勢で前向きに取り組むことができているか。 ・日常生活において積極的に撮影する機会を設けているか。
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓		(主体性) アプリの使い方を自ら調べながら積極的に作品制作を行うことができる。 (実行力) 何度も修正を繰り返し作品の精度を上げることができる。 (課題発見力) 作品制作のなかで、課題となる点を探し解決へ導くことができる。 (創造力) 前例を調べつつ、新規性を開拓することができる。 (発信力) プレゼンテーションにて適切な手段を用いて、相手に伝わる工夫をすることができる。 (傾聴力) 他者のプレゼンテーションを聴いて、適切に批評を行なうことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>①提出作品の完成度が極めて高く表現にも工夫が見られる。</p> <p>②提出作品のコンセプトやデザインテーマなどが秀逸である。</p> <p>③既存作品に多く触れ、分析したことを制作に反映している。</p> <p>④積極的にプロジェクトに参加している。</p> <p>⑤社会人基礎力の能力要素にある7項目が達成できている。</p> <p>A(優)</p> <p>上記①～④に加え、社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。</p>	<p>B(良)</p> <p>①作品を提出することができている。</p> <p>②アイデアに工夫を凝らすことができている。</p> <p>③既存作品に多く触れることができている。</p> <p>④定められたプロジェクトに参加している。</p> <p>⑤社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。</p> <p>C(可)</p> <p>上記①～④に加え、社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む4項目が達成できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション ・ゼミの進め方、成績評価について ・自己紹介	【講義】 ・ゼミの進め方、成績評価について 【演習】 ・自己紹介Jamboard作成、共有 ※大学PCまたは個人PCを使用する	ゼミの進め方、成績評価について理解し、自己紹介Jamboardを作成して共有することができる。	(予習)ClassroomにアップされたJamboardを見て、自己紹介で書く内容を把握しておく。 (復習)ゼミメンバーのプロフィールを閲覧する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	逆絵コンテワーク ショップ ・既存の映像作品の音声だけを流し、映像を想像して絵コンテに落とし込もう	【講義】 ・WSの説明、グループ分け 【演習】 ・個人ワーク：音声だけを聞いて絵コンテに落とし込もう ・グループワーク：絵コンテを持ち寄ってディスカッションして絵コンテを完成させよう ・発表 ※大学PC、個人PC、個人スマホを使用する	音声を聞いて絵コンテに起こすことができる。グループメンバーと協力し、最終的に絵コンテを完成させることができる。	(予習)Classroomにアップされた絵コンテ資料を確認する。 (復習)Classroomにアップされた他のグループが作成した絵コンテを確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	ショート動画編集① 提供された撮影動画を使用してAdobe Premiere ProとVITAでショート動画を編集しよう	【講義】 ・課題概要 ・撮影素材の確認 ・Adobe Premiere Proの基本操作 ・VITAの基本操作 【演習】 ・Adobe Premiere Proの起動、ワークスペースの確認 ・Adobe Premiere Proの基本的な編集操作 ・VITAの起動、動画の読み込み ※大学PC、個人PC、個人スマホを使用する	映像編集の基本的な操作を確認することができる。	(予習)Classroomにアップされた『編集基礎』資料を確認する。 (復習)Adobe Premiere Pro・VITAの起動、動画の読み込み方法を確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
4	ショート動画編集② 提供された撮影動画を使用してAdobe Premiere ProとVITAでショート動画を編集しよう	【講義】 ・課題概要 ・撮影素材の確認 ・Adobe Premiere Proの基本操作 ・VITAの基本操作 【演習】 ・Adobe Premiere Proの起動、ワークスペースの確認 ・Adobe Premiere Proの基本的な編集操作 ・VITAの起動、動画の読み込み	映像編集の基本的な操作を確認することができる。	(予習)Classroomにアップされた『編集基礎』資料を確認する。 (復習)Adobe Premiere Pro・VITAでのカット編集、トランジション、テロップ挿入方法を確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
5	撮影演習①スマホカメラ編 大学構内をスマホカメラで撮影する 構図や光に着目し、撮影した素材をVITAで編集	【講義】 ・スマホカメラで撮影するコツ ・構図を意識する 【演習】 ・大学構内をスマホカメラで撮影しよう ・撮影素材をClassroomにアップしてプレビューしよう	スマホカメラを用いて、構図を意識しながら撮影することができる。	(予習)Classroomにアップされた『撮影基礎』資料を確認する。 (復習)Classroomにアップされた『スマホカメラで撮影するコツ』資料を確認し、スマホカメラの設定を行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
6	撮影演習②ミラーレスカメラ編 他ゼミの授業風景をミラーレスカメラで撮影する ミラーレスカメラの操作方法を覚えよう	【講義】 ・ミラーレスカメラの基本操作 【演習】 ・他ゼミの授業にお邪魔して様子を撮影しよう ・撮影素材をチームごとにプレビューしよう	ミラーレスカメラの基本操作を理解し撮影することができる。宇分が撮影した素材をプレビューし、振り返ることができる。	(予習)Classroomにアップされた『撮影基礎』資料を確認する。 (復習)他のチームが撮影した素材を確認し、フィードバックを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
7	撮影演習①・②で撮影した動画を編集しよう	【演習】 ・編集の基本操作をおさらい ・自身で撮影した動画をAdobe Premiere ProとVITAに読み込み編集しよう	Adobe Premiere ProまたはVITAでの編集の基本操作をおさらいできる。	(予習)Classroomにアップされた『編集基礎』資料を再読する。 (復習)Classroomにアップされた他の学生が編集した作品をプレビューしコメントする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	ショート動画／ゼミ紹介動画制作①	【講義】 ・グループワーク概要 ・ショート動画チーム、ゼミ紹介動画チームに分かれる ・役割分担、スケジューリング ・アイデア出し	チーム分け、役割分担、スケジューリング、アイデア出しを行うことができる。	(予習)ショート動画、ゼミ紹介動画の概要資料を読んでおく。 (復習)企画書、絵コンテ、台本のひな形データを確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ショート動画／ゼミ紹介動画制作②	【講義】 ・アイデア出しのコツ ・企画の進め方 【演習】 ・チームでアイデアを出し合おう ・企画書の作成を進めよう	チームごとにアイデアの決定、企画書・絵コンテの作成を進めることができる。	(予習)企画書、絵コンテ、台本のひな形データを確認する。 (復習)チームでディスカッションした内容を再確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	ショート動画／ゼミ紹介動画制作③	【演習】 ・撮影開始 ・撮影素材プレビュー →必要があれば追加撮影	絵コンテや台本をもとに撮影を行うことができる。撮影素材をプレビューして足りない部分を把握できる。	(予習)Classroomにアップされた資料を再読する。 (復習)撮影素材をもとに再度絵コンテや台本を再構成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	ショート動画／ゼミ紹介動画制作④	【演習】 ・追加撮影 ・編集開始	撮影素材をAdobe Premiere ProまたはVITAに読み込んで編集を開始することができる。	(予習) ブラッシュアップした絵コンテや台本を確認する。 (復習)Classroomにアップされた他チームの途中段階の動画をプレビューしてコメントする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12～13	ショート動画／ゼミ紹介動画制作⑤	【演習】 ・編集	引き続き編集を行い、ブラッシュアップすることができる。	(予習) 仮編集動画をプレビューする。 (復習)Classroomにアップされた他チームの途中段階の動画をプレビューしてコメントする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	ショート動画／ゼミ紹介動画制作⑦ 完成・提出	【演習】 ・編集 ・動画書き出し ・Classroomにアップロード	動画を編集し、書き出すことができる。 Classroomにアップして提出できる。	(予習) 仮編集動画をプレビューする。 (復習)Classroomにアップされた完成作品たちをプレビューしてコメントする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	<オンデマンド動画> ・作品講評 ・前期の振り返り	【オンデマンド動画での講義】 ・作品の講評 ・前期振り返りシートについて 【演習】 ・前期の振り返りシート作成 ※個人PCで行う	作品の講評を聞き、ブラッシュアップすることができる。 前期の振り返りシートを提出できる。	(予習) 完成作品をプレビューする。 (復習)動画内で提示されたフィードバックを作品に反映する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
16	後期イントロダクション ・ゼミの進め方について ・後期プロジェクト参加希望確認 ・学泉祭について	【講義】 ・ゼミの進め方について、スケジュール ・後期プロジェクト概要 ・学泉祭について 【演習】 ・後期プロジェクトチーム分け ・学泉祭 役割分担	後期プロジェクトや学泉祭の活動概要を確認することができる。	(予習) Classroomにアップされた『後期プロジェクトについて』資料を読んでおく。 (復習)学泉祭活動概要資料を読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
17～20	学泉祭 企画～準備～制作 ・VRキャンプ※予定 ・学泉祭ライブ配信※予定	【演習】 ・VRキャンプ班、ライブ配信班2つのチームに分かれる ・チームに分かれて企画～準備～制作 ・学泉祭当日もう役割分担をして担当する	チームに分かれて企画～準備～制作を行うことができる。当日も与えられた役割を全うできる。	(予習) チームで共有された資料を読んでおく。 (復習)学泉祭振り返りシートに活動報告を記入する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
21～ 27	後期プロジェクト ①なまラジっ！制作 ②ショート動画制作 ③ファッションショー メイキング動画・スライド制作	【演習】 ・3つのプロジェクトで希望のチームに分かれる ・チームに分かれて企画～準備～制作	チームに分かれて企画～準備～制作を行い、作品を完成させることができる。	(予習) チームで共有された資料を読んでおく。 (復習) 後期プロジェクト振り返りシートに活動報告を記入する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
28～ 29	ゼミ活動報告 原稿・スライド作成	【演習】 ・ゼミ活動報告原稿・スライド作成 ・完成、提出	ゼミ活動報告原稿作成班、スライド作成班、発表班に分かれて制作を行う。	(予習) 去年の活動報告資料に目を通しておく。 (復習) 完成されたスライド資料に目を通しておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
30	<オンデマンド動画> 総まとめ・振り返り	【オンデマンド動画での講義】 ・後期プロジェクト作品の講評 ・1年間の総評 【演習】 ・振り返りシート記入、提出 ※個人PCで行う	オンデマンド動画を最後まで視聴し、講評を確認することができる。振り返りシートを記入し、提出することができる。	(予習) Classroomにアップされた後期プロジェクト作品をレビューする。 (復習) 全員分の振り返りシートを確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力